

平成20年度 市民活動支援センター事業報告

平成20年度事業総括

調布市市民活動支援センターの運営は2期目の受託期間に入りました。

国領のセンター運営も4年目に入り、定型的なサービスや日常的な運営においては安定してまいりました。

そのような中で、今のセンターが設置当初の目的にあったサービス提供ができているか、想定していた地域ニーズは現実はどうであったのか、今後どのような方針でセンター運営をすすめていくべきか、あらためて考えるために行政の担当部署と運営委員会のメンバーによる定期的な懇談会を開催しました。

運営委員会の役割や位置づけ、あるいは地区協議会の設立や協働の推進にあたってセンターに求められる役割はどのようなものか、といったテーマで4回開催しました。結論が出るような内容ではありませんでしたが、設置者と受託者が市民の思いを反映して必要とされるサービスの提供を行えるセンターづくりをすすめていくためのよい機会であったと思います。今後は課題のひとつとして、センター事業の評価をどのようにおこなっていくかという点もふまえて継続して協議する場を設けていきたいと考えています。

チャリティーウォークや首都圏統一帰宅困難者対応訓練の実施など、地縁的組織、NPO、企業や行政などさまざまな立場の人や組織が協働する場面をあらたに作り出した年でもありました。こうしたネットワークをますます広げていくとともに、中間支援組織としての原点をみつめ直しながら次年度につなげていきたいと思っています。

個別事業

| 番号 | 事業名 | 計画の種類 | | | | | 決算額(15,142,521円) | | | |
|----|------------|-------|----|----|----|----|------------------|----|----|----|
| | | 新規 | 重点 | 活動 | 改善 | 発強 | 自主 | 補助 | 委託 | 利用 |
| 1 | 市民活動支援センター | | | | | | | | 市協 | |

市協 調布市生活文化部協働推進課の略

第1 センターおよびランチの運営

1 市民活動支援センター運営委員会の開催

住民の主体的な活動を支援し、市民参画型のまちづくりを積極的に進めるため、毎月1回市民活動支援センター運営委員会を開催し、センター事業についての協議をおこなった。

(1) 市民活動支援センター運営委員会

任期：平成19年4月1日～平成21年3月31日（敬称略・50音順）

| 氏名 | 主な活動、所属など |
|------------------|------------------------------|
| 岩松 真也 | 調布エフエム株式会社 |
| 上田 英司 | 特定非営利活動法人NICE |
| 尾関 葉子 | DADAアフリカと日本の開発のための対話プロジェクト |
| 金子 日出澄 | 市民活動支援センター |
| 熊谷 紀良 | 東京ボランティア・市民活動センター |
| 小泉 伸子 | 調布WAT |
| 小林 孝 | 特定非営利活動法人ちょうふこどもネット |
| 阪井 伸子 (副委員長) | 調布市地域福祉活動計画策定委員、ミニデイ活動ボランティア |
| 佐藤 勇治 | 特定非営利活動法人全国教育ボランティアの会 |
| 島村 誠 | 調布市立第六中学校教育コーディネーター |
| 日比生 信義 (副委員長) | 林建設株式会社 |
| 福島 いづみ | 調布市生活文化スポーツ部協働推進課 |
| 山口 昌之 (委員長) | 株式会社やまぐち |
| 山本 縁 | 調布市登録手話通訳者 |
| 若林 裕子 | 野ヶ谷の郷運営スタッフ |
| 和田 敏明 | ルーテル学院大学教授 |

(2) 平成20年度 市民活動支援センター運営委員会開催状況

| | | |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 4月22日 | 運営委員の交代について、【報告】平成20年度えんがわファンドについて、ちょうふチャリティウォークについて、【協議】今年度重点課題への取り組み方針について(出席委員:15人) |
| 第2回 | 5月14日 | 【審議】平成19年度市民活動支援センター事業報告について、平成19年度市民活動支援センター決算報告について【協議】協働に関する行政との懇談会について【報告】市報特集号について、ちょうふチャリティーウォークについて(出席委員:14人) |
| 第3回 | 7月9日 | 【協議】行政と運営委員会の懇談会に向けて【報告】えんがわファンド選考結果について、ちょうふチャリティーウォークについて(出席委員:13人) |
| 第4回 | 9月10日 | 【審議】社会福祉法人調布市社会福祉協議会一般会計ボランティア活動推進区分補正予算について【報告および協議】行政と運営委員の懇談会について【報告】ちょうふチャリティーウォークについて、えんがわファンド活動見学について(出席委員:14人) |
| 第5回 | 12月10日 | 【協議】えんがわフェスタ2009について、NPO実態調査について【報告】行政と運営委員の懇談会について、ちょうふチャリティーウォークについて、市民参加プログラムを補完する「市民参加手順ガイドライン」と「協働推進ガイドブック」策定に向けた市民懇談会について、その他(島村運営委員より提案)(出席委員:13人) |
| 第6回 | 1月15日 | 【協議】平成21年度市民活動支援センター事業方針、重点課題(案)について、えんがわフェスタ2009について【報告】行政と運営委員の懇談会について、NPOに関する調査について(出席委員:14人) |
| 第7回 | 2月2日 | 【審議】平成21年度事業方針・重点課題(案)について【協議】平成21年度事業計画(案)について、えんがわフェスタ2009について【報告】えんがわファンド助成団体活動見学について(出席委員:14人) |
| 第8回 | 3月11日 | 【審議】平成21年度事業計画(案)について、平成21年度事業予算(案)について【報告】えんがわファンド募集要項について、えんがわフェスタ2009について(出席委員:15人) |

2 市民活動支援センター運営委員と行政の懇談会

より良いセンター運営を目指し、設置者と運営者が中・長期的な視点での運営指針や事業展開イメージを共有することを目指して開催した。

(開催状況)

第1回 7月14日(月)午後5時~7時

第2回 11月14日(金)午前10時~12時

第3回 12月18日(木)午後6時～8時

第4回 1月21日(水)午後6時～8時

(メンバー)

市民活動支援センター常任委員、市役所担当部長、次長、課長、課長補佐、主任

3 市民活動支援センター利用者会議の開催

広く利用者の声を直接聞く機会を設けるとともに、利用者間の横のつながりを活性化することを目的として実施。18年度より「えんがわミーティング」というタイトルをつけた。

第1回 えんがわミーティング「オフの風景～100のアルバム～」

| | |
|---------|--|
| 日時 | 11月26日(水)午後6時30分～8時30分 |
| 会場 | 市民活動支援センター 活動スペースはばたき |
| 参加者数 | 参加者8人、スタッフ6人、運営委員1人 |
| 参加費 | 無料 |
| 1 目的 | <p>普段、市民活動支援センターを利用していても、近くにいる他の利用者と知り合える機会は少ない。センターを利用する団体の代表としてえんがわミーティングに参加するのではなく、一個人として参加していただく。個人の趣味や関心ごとを互いに紹介することによって、団体などの看板を背負わずに、話しやすい場となり、利用者同士の交流、また、利用者とスタッフとの交流を促進させるきっかけとする。</p> |
| 2 プログラム | <p>ご挨拶 趣味の紹介 フリートーク まとめ お知らせ</p> |
| 3 内容 | <p>趣味に関する作品などの実物をご持参いただき、それをもとに自分の趣味やオフタイムの過ごし方についてご紹介していただいた。「自分の好きなことや関心のあること」ということで肩肘張らずにリラックスしてお話していただくことができた。また、質問も出やすく、終始和やかな雰囲気であった。紹介のときに話した内容がフリートークで話の種となり、広がりを見せ、この会をきっかけに参加者同士のつながりができていた。</p> <p>また、センタースタッフは企画を運営するだけにとどまらず、いち参加者として関わることで、利用者との距離を縮め、今後何かあったときに相談しやすい、話しかけやすい関係づくりを構築することができたように思う。</p> |

第2回 えんがわミーティング「えんがわブに『ボッチャ』がやってきた！」

| | |
|------|-----------------------|
| 日時 | 2月11日(水・祝)午後2時～4時 |
| 会場 | 市民活動支援センター 活動スペースはばたき |
| 参加者数 | 利用者31人、スタッフ6人、協力者1人 |

| 参加費 | 無料 |
|--|----|
| <p>1 目的 老若男女誰でも楽しめる障害者スポーツ「ボッチャ」を取り上げ、実際に体験することによって、障害者スポーツへの理解を深め、利用者同士や利用者とセンタースタッフの交流をはかる。</p> <p>2 プログラム ご挨拶 レクリエーション ルール説明、ボッチャ体験 ボッチャについて（協力者：長山弘氏） フリートーク（映像上映） まとめ</p> <p>3 内容 今回の企画は前回のえんがわミーティングで参加された方が「ボッチャ」を紹介し、他の参加者が提案したことにより実現に至った。 はじめに障害者スポーツボッチャを紹介し、それを踏まえた上で体験に臨んでいただいた。レクリエーションは自己紹介も兼ねており、楽しい場を演出した。レクリエーションに続いて、大人・子ども・障害者関係なくグループを組んで試合をおこなった。体を動かしての交流だったので、話し声が絶えなかった。また、障害を持った方が健常者の大人や子どもを教えている姿が目立った。 フリートークではスポーツカフェ風にパラリンピックの映像を上映し、障害者スポーツの奥深さを感じ取ってもらうよう、また、話しやすい雰囲気となるよう工夫をした。 ボッチャをまたやりたいという声もいただき、にぎやかな会となった。</p> | |

成果・反省点・課題

市民活動支援センターとして取り組んできた利用者会議であるが、平成17年度の反省より本来の目的の1つである「利用者間の横のつながりを構築し、交流を活性化させること」を推進するべく、ゲストを招き、「学びの場」とすると共に交流の場としての「えんがわミーティング」を確立させた。

今年度は「愉しめる企画」を通じて、スタッフと利用者の関係をより一層緊密にしていく方向性を強く打ち出した。第1回「オフの風景～100のアルバム～」では、利用者の横顔、スタッフの横顔を見せることで関係が近くなり、利用者同士、利用者スタッフとの交流も深まった。第2回「えんがわに『ボッチャ』がやってきた！」は、第1回からの自然な流れで、愉しめる企画を通じつつも従来の「えんがわミーティング」が持っていた「利用者の活動をクローズアップする」要素も含み、学びの場としても提供することができた。利用者の提案による企画ということで、えんがわミーティングが利用者に周知されてきたことがひとついえるであろう。

また、今年度2回のえんがわミーティングでは対照的な側面がみられる。第1回では「センター利用者」が多く、「少人数」であったのに対し、第2回では「初めてのセンター来館者」が多く、「大人数」であった。今後において、センター利用者の声を拾い上げていくという面と、初の来館者へセンターを知っていただくという面のバランス、また、その回の対象者を分けて考えていくことも検討していくべきである。

4 市民活動支援センターサポーター会員制度

自立した市民社会の創造、住民参加型のまちづくりの実現を目指すセンターの方針に賛同し、センター運営を資金面から支えていただくサポーター会員制度が設置されて3年経過した。サポーター会費は市民活動助成事業「えんがわファンド」の原資として活用した。

サポーター会員数：40口（内訳：団体...29、個人...4人 複数口の加入もあり）
活動分野：情報化、福祉（児童、障害児・者、高齢者）、生涯学習、リサイクル・環境、歴史・文化・芸術、子育て・教育、国際協力・交流、生活環境づくり、男女共同参画、心理など

5 市民交流事業の実施

えんがわフェスタ2009「調布の世界一をつくろうプロジェクト」キックオフ

「地域の活性化」「連帯感」「人のつながり」をキーワードに、「調布の世界一をつくろうプロジェクト」のキックオフとして市民交流事業を実施した。「調布の世界一をつくろうプロジェクト」は、子どもから高齢者まで、みんなで力を合わせて（できれば1万人くらいの参加者で）ギネス・ワールドレコードに登録する記録をつくろう、というもの。

実際のギネス挑戦会は2009年秋以降～2010年春の間での実施を予定し、今回のフェスタでは、ギネス挑戦にむけたキックオフイベントとして 100人の市民会議 ゲストコーナー 直径13センチの自転車にのるジェームスさんパフォーマンス なんでも世界一・日本一紹介コーナー 記録にチャレンジ（簡単なゲームなど体験コーナー）といった内容で実施した。

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 開 催 日 | 3月15日(日)一部 午前10時～午後2時 二部 午後2時30分～4時 |
| 会 場 | 調布市市民プラザあくる市民活動支援センター |
| 来 場 者 数 | 一部 約150人 二部 約70人 |
| 主 催 | 調布市市民活動支援センター |

プログラム

第一部 1日限りの調布ギネス博物館 午前10時～午後2時

（展示コーナー）

- ・びっくり!! 世界一の高額紙幣!
- ・超ビッグな靴
- ・世界一短い歌を聴いてみよう
- ・もっとも長い髪 かつらで再現
- ・世界一のノッポさん

（体験コーナー）

- ・ 1分間で何足の靴ひも結べる？
- ・ リフティングに挑戦
- ・ 円周率暗記コンテスト
- ・ ギネスクイズ
- ・ 長いのりまきづくりに挑戦
- ・ 世界一大きな卵でつくる卵焼き

(飲食コーナー)

- ・ 世界各地のドリンク大集合！
- ・ おもしろフード&デザートコーナー(協力：だんでらいおん、調布ドリーム)

(ゲストコーナー)

- ・ 直径13センチ?!自転車パフォーマンス ジェームスさん

(その他)

- ・ 毎年恒例「パソコンでオリジナル作品をつくろう」(協力：調布パソコンサークル)

第二部 午後2時30分～4時

ワールドカフェ 調布の世界をつくろう! アイデア募集中!!

(協力：ファシリテーター 青木将幸氏)

成果・反省点・課題

- * 毎年、幅広い市民が交流する機会として実施しているが、今回は意図が伝わりづらかったのか例年よりも参加者が少なかった。第二部で実施した「ワールドカフェ」は最近関心を集めている新しい会議手法で、大人数が参加でき、結果に対する納得感と議論に参加したという達成感が得られるということで今回もっとも期待したところであった。しかし100人の参加者を目標にしていたものの実際の参加者は約70人ととどまり、またテーマ設定の難しさもあってワールドカフェの効果を実感することができなかった。企画内容はもとより広報や準備の進め方などさまざま課題の残る結果となった。

6 小島町コーナーボランティア活動室利用者会議の開催

市民活動支援センター・小島町コーナーでは、ボランティア登録団体の皆さまに活動室やメールボックス等の貸し出しを行っている。年に1度、ボランティア活動室を利用している団体を対象にボランティア活動室利用者会議を開催。この会議では、ボランティア活動室利用方法の確認やボランティア活動室の運営がより円滑に利用が出来るため利用団体の声を聞く機会となることと同時に利用者間の横のつながりを活性化することを目的としている。

| | |
|---------|--|
| 日 時 | 3月11日(水) 午前10時～11時30分 |
| 会 場 | 総合福祉センター2階 ボランティア活動室 |
| 参加者数 | 利用団体14団体16人、スタッフ2人 |
| 1 プログラム | 事務局より 活動室利用について メールボックス・棚の利用について その他 |
| 2 内容 | 活動室利用方法の確認 予約受付開始について・定例の活動について・棚の利用について・メールボックスにつ いて・土日夜間申請について確認する。 メールボックス・棚の利用について 新規に棚やメールボックスの利用を希望する団体があったので調整をした。 お互いの活動を理解するために活動紹介をした。 その他 |

成果・反省点・課題

- * 棚やメールボックスを希望する団体に対して、物品の保管場所にならないよう再確認をした。
- * 市民活動支援センター小島町コーナー開所日変更に伴い土曜日の申請書の提出が必要である事を再確認した。
また、申請方法としてFAXでの申請も受付が可能になったことを報告した。
- * キャンセルの連絡について、キャンセルが決まった時点ですぐに連絡を入れていただくよう、あらためてお願いをした。
- * 定期的な活動を継続していた1団体が活動を終了したことを参加団体に報告した。
- * 活動日の変更を希望する団体の調整をした。
- * 会議を重ねるごとに、団体同士交流が深まり協力関係ができてきた。

7 「野ヶ谷の郷」

梅の湯商店会の空き店舗を利用して、平成16年11月1日にオープンした市民活動支援センター6番目のランチ。他のコーナーとは異なり、コーディネーターを配置せずに市民(野ヶ谷の郷運営委員会)が運営している。

(1) 概要

| | |
|-------|--|
| 機 能 | ボランティアビューロー機能 貸スペース機能 福祉ショップ機能 地域活動拠点機能 活動発表ギャラリー |
| 開 設 日 | 火・木・土 ボランティアスタッフが当番で開設 |
| 貸 出 日 | 毎日 |

第3部 市民活動支援センター

| | |
|--------|-------------|
| スタッフ人数 | 29人(うち役員5人) |
|--------|-------------|

(2) 総会・交流会

| | |
|-----|---|
| 日時 | 4月24日(木) 午前11時～12時 |
| 内容 | 以下の議案を提案し、承認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度事業報告 ・平成19年度決算 ・平成20年度事業計画(案) ・平成20年度予算(案) ・平成20年度役員 総会終了後、交流会を開催した。 |
| 参加者 | 19人、委任状提出3人 |

(3) 野ヶ谷の郷運営委員会役員 (敬称略・50音順)

| | |
|---------------|-------------------|
| 井垣 裕子(副代表) | ミニデイ深大寺東町ひだまり代表 |
| 磯野 幸子(会計) | 上ノ原地区青少年健全育成委員 |
| 百合田 紀恵子(会計監査) | ミニデイ深大寺東町ひだまりスタッフ |
| 四家 綾子(代表) | ひだまりサロン立ち上げスタッフ |
| 若林 裕子(書記) | 市民活動支援センター運営委員 |

(4) 役員会

| 回数 | 日時 | 内容 | 参加者数 |
|-----|---------------------------|---|------|
| 第1回 | 6月28日(土) 午前10時～11時30分 | 講習会「後期高齢者医療制度」について、商店会まつり「納涼祭」への参加について、夏休みイベントについて、野ヶ谷の郷だよりについて | 5人 |
| 第2回 | 9月26日(金) 午前10時～11時30分 | 商店会まつり「納涼祭」について、講習会「介護保険制度」について、野ヶ谷の郷だよりについて | 4人 |
| 第3回 | 11月29日(土) 午前10時～11時30分 | 講習会「介護保険制度」について、イベント「四方山話」について、年末年始の休館日について、野ヶ谷の郷だよりについて | 4人 |
| 第4回 | 1月31日(土) 午前10時～正午 | 平成21年度総会・交流会について、春休みイベントの開催について、5周年事業について、野ヶ谷の郷だよりについて | 4人 |
| 第5回 | 3月21日(土) 午前11時～12時20分 | 平成21年度総会・交流会について、春休みイベント「みんなで歌おう」について、5周年事業に | 4人 |

| | | | |
|--|--|----------------------------------|--|
| | | ついて、調布ボランティアまつりについて、野ヶ谷の郷だよりについて | |
|--|--|----------------------------------|--|

(5) 野ヶ谷の郷だよりの発行

野ヶ谷の郷や地域の情報を発信するため、「野ヶ谷の郷だより」を計3回発行し、周辺自治会等に配布した。各号1,400部発行。

| | |
|----------|--|
| 6月号(18) | サークルの紹介、講習会「後期高齢者医療制度」の案内 |
| 11月号(19) | サークルの紹介、講習会「介護保険制度」の案内 |
| 1月号(20) | ギャラリーの紹介、講習会「介護保険制度(第2回)」の案内、ご近所支えあい隊の紹介 |

(6) 市民活動団体の活動拠点

地域で活動する市民活動団体の活動の拠点として活用されている。

| 団体名 | 活動内容 |
|----------|----------------------------------|
| じんだいNET | 深大寺地域の活性化 |
| ご近所支えあい隊 | 日常の生活上のちょっとした困りごとを、地域住民同士で支えあう活動 |

(7) サークル活動の拠点

継続的に貸スペースを利用しているサークルは、11団体となっている。この他、自治会や商店会等も利用しており、地域の活動の拠点として活用されている。

自主活動サークル

| 団体名 | 活動内容 | 活動日 |
|---------|-------------|-----------------|
| お茶を楽しむ会 | お茶とおしゃべり | 第2・4月曜日 |
| 表装同好会 | 表装 | 第2・4月曜日 |
| 麻雀同好会 | 麻雀 | 第1・3火曜日、第2・4水曜日 |
| 筆字会 | 書道、篆刻(てんこく) | 第1・3・5水曜日 |
| 囲碁同好会 | 囲碁 | 毎週金曜日 |
| サンデークラブ | 初心者麻雀 | 第2・4日曜日 |

野ヶ谷の郷運営委員会による活動サークル

| 団体名 | 活動内容 | 活動日 |
|----------|--------|-----------------|
| 折紙教室 | 折り紙 | 第4火曜日(月により変更あり) |
| パッチワーク教室 | パッチワーク | 第4木曜日(月により変更あり) |
| テーブルお点前 | お茶会 | 第4木曜日 |

| | | |
|---------|-------|---------|
| 絵を描こう会 | 絵画 | 第1・3土曜日 |
| ふれあいランチ | 料理・会食 | 第2土曜日 |

(8) 梅の湯商店街まつり「大納涼祭」

梅の湯商店会会員として、商店街まつりに参加した。

| | |
|------|-----------------|
| 開催日時 | 8月25日(月)午後3時～6時 |
| 会場 | 「梅の湯」駐車場 |
| 参加内容 | 野ヶ谷の郷の開放、出店手伝い |

(9) イベント・講習会

子どもから高齢者までが楽しみながら交流するイベントや、介護保険制度等の生活に密着したテーマの講習会を開催した。

| 内 容 | 開催日時 | 講師 | 参加者数 |
|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|------|
| 春をみんなで歌おう | 4月3日(木) 午後1時30分～3時30分 | | 28人 |
| 講習会「イチからわかる！ 後期高齢者医療制度」 | 7月3日(木) 午後1時30分～3時 | 調布市保険年金課後期 高齢者医療係 職員 | 30人 |
| 講習会「イチからわかる！ 介護保険制度」 | 12月4日(木) 午後1時30分～午後3時30分 | 介護保険ちょうふ市民 の会 会員 | 32人 |
| ヴァイオリン演奏と四方 山話 | 1月13日(火) 午後2時～4時 | | 16人 |
| 講習会「第2回イチからわ かる！介護保険制度」 | 3月5日(木) 午前10時30分～正午 | 介護保険ちょうふ市民 の会 会員 | 13人 |

(10) 地域イベントへの参加

地域で行われるイベントに参加・協力した。

| 内 容 | 開催日時 |
|-----------------------------|---------------|
| じんだいフェスタ2008 昔遊び(輪投げ)を担当 | 4月5日(土)、6日(日) |
| 深大寺夕涼み会 昔遊び(輪投げ)を担当 | 8月10日(日) |

(11) ボランティア入門講座「はじめの一步」

初めてボランティア・市民活動に参加する方やボランティア・市民活動について知

りたいという方を対象に、ボランティア入門講座「はじめての一步」を開催した。

| 開催日時 | 参加者数 | スタッフ数 |
|------------------|------|-------|
| 9月30日(火)午前10時~正午 | 0人 | 1人 |

成果・反省点・課題

- * 地域の方の認知度は高まっているが、野ヶ谷の郷への来所やボランティアとして参加までにはつながっていない。地域の方にどのようにして広げていけるかが課題。
- * 後期高齢者医療制度や介護保険制度といった、生活に密着した講座を実施したところ、多数の参加者があり、関心の高さを伺うことができた。平成21年度も地域住民のニーズに合わせた講座を継続して実施していきたい。
- * ふれあいの間(貸スペース)の利用率は82%(平成18年度59%、平成19年度81%)と年々増加しており、サークル活動だけでなく、市民活動団体や自治会等、深大寺地域で活動する様々な団体の活動拠点として活用されている。

第2 情報・資料の収集および提供

1 えんがわだよりの発行

ボランティア・市民活動情報を提供するため、毎月発行。隔月にタウン誌折込みを行うなど配布先拡大、市民の手にわたる配布方法を工夫した。

(1) 概要

| | |
|------|---|
| 発行目的 | 市民活動に関する情報や市民活動支援センターの活動報告、ボランティア募集等を含めた内容で、センターを多くの方々に知ってもらい、利用していただくこと、また市民活動を促進し市民主体の支えあうまちづくりをすすめていけるよう課題を提起することを目的としている。 |
| 発行日 | 毎月15日発行 |
| 発行部数 | ・奇数月 3,500部(タウン誌182へ2,000部折り込み 菊野台地区) ・偶数月 1,500部 |
| 配布先 | ・市内公共施設(地域福祉センター、図書館、児童館、青少年ステーションCAPS、公民館、体育館、小学校、中学校、高校、大学、郵便局、京王線駅頭など) ・市内企業 ・市民活動支援センターサポーター ・東京ボランティア・市民活動センターほか都内ボランティア・市民活動センター |
| 内容 | ・特集記事(課題提起やまちの話題紹介など) ・ボランティア募集 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センターの活動報告やお知らせ ・地域の市民活動情報、助成金情報など |
|--|---|

(2) 各号の特集記事の内容

| 号数 | 内容 |
|----------------|--------------------------------------|
| 4月号(35) | 平成19年度えんがわファンド助成団体活動レポート 第4弾 |
| 5月号(36) | 地域で活躍するお父さん～おやじの会～ |
| 6月号(37) | 地域でできる「エコ」、家庭でできる「エコ」 |
| 7月号(38) | 若者世代のボランティア活動「私がボランティアをはじめた理由」 |
| 8月号(39) | 「はじめの一步は古切手回収」～三井生命保険株式会社調布営業部の取り組み～ |
| 9月号(40) | 災害時、歩いて自宅に帰れますか?～帰宅困難者になってしまったら～ |
| 10月・11月合併号(41) | 市民と創る快適空間～文化施設のボランティア～ |
| 12月・1月合併号(42) | 市民活動の豆知識～公益法人制度改革～ |
| 2月号(43) | 運営委員座談会「4年間を振り返り、今後を展望する」 |
| 3月号(44) | 運営委員座談会「4年間を振り返り、今後を展望する(後編)」 |

成果・反省点・課題

- * 地域の活動団体や活動者・企業の取り組みの紹介、家庭や地域での提案、法改正の情報、センターの情報提供など多岐にわたって紹介することができた。
- * センタースタッフからの視点だけでなく、多くの方からの視点も取り入れられた、より見やすくより手に取りやすい仕掛けを提案していきたい。今後はスタッフだけでなく、運営委員もしくはセンター利用者の方々に記事作りに参加していただくプロジェクトチームなどを検討する。また、提供した情報がどのように活用されているのか反響・成果(ボランティア募集項目)など追跡調査をして、より市民の手に取りやすい工夫をする必要がある。
- * 今年度は理容組合など新規で配架のご協力をいただいた。来年度も商店街や企業など、配布先の範囲を広げ、より身近な広報誌となるよう努力したい。

2 えんがわだよりオンライン(えんがわだよりブログ版)

平成20年3月より、シーサー株式会社運営無料ブログサイトを活用し、WEB上で「えんがわだより」の配布を開始した。

過去記事の閲覧ができるよう編集作業を進めるとともに、スタッフが日常の中で感じたことやお知らせを書き込むなど、タイムリーな情報発信手段として活用していきたい。

【最近6ヶ月の月平均アクセス数】

ユニークアクセス 164.6人 トータルアクセス 521.3人

3 市民活動支援センターホームページ運営

登録団体数については、市内のNPO法人「ちょうふどっとこむ」などや、市内に存在する地区協議会、調布市立図書館の情報発信事業である「市民の手によるまちの資料情報館」のサイトと情報共有を図り、現在約320の団体登録がある（前年度比50団体増加）。

ホームページの構成については、市民活動団体の情報の受発信（イベント予定や内容の報告、新規メンバー、ボランティア・参加者募集など）を支援すると同時に、2007年からは調布市の生涯学習・市民活動情報システム「さがす見つかるシステム」と連動してより多くの市民が市民活動に関わるきっかけを得る媒体のひとつとして情報の共有化、ページの見易さ、使いやすさを工夫している。

また、機能改善のため、「さがす見つかるシステム」の所管である生涯学習交流推進課とは月に1度、システムの運営会議を行いシステム改善についての意見交換を行っている。さらに、現在毎月紙媒体にて発行されている「えんがわだより」をインターネットでも閲覧できる「えんがわだよりオンライン」を設置し、記事の内容のカラー写真付きの紹介や、スタッフによる日々の市民活動支援センターの様子の広報なども行っている。

今後も、さまざまなネットワーク間、団体間の情報共有、センター及びコーナーの事業予定を紹介してきながら、センターのサービス内容や報告等に関する情報提供にも力を入れていきたい。平成20年度は約69,000件のアクセスがあり、昨年度と比べ12,500件のアクセス増加となった。（昨年度比13%の増加率）

| 月 | 前年度比 | 平成20年度 アクセス数 | 平成19年度 アクセス数 | 平成18年度 アクセス数 | 平成17年度 アクセス数 |
|-------|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 4 | 149% | 5,493 | 3,679 | 3,861 | 2,236 |
| 5 | 125% | 5,879 | 4,695 | 3,605 | 2,412 |
| 6 | 132% | 5,610 | 4,237 | 3,636 | 2,690 |
| 7 | - | 6,309 | システム変更の為計測せず | 4,066 | 3,051 |
| 8 | 92% | 5,393 | 5,839 | 3,718 | 3,682 |
| 9 | 106% | 5,747 | 5,433 | 3,799 | 3,099 |
| 10 | 101% | 6,051 | 5,982 | 3,641 | 2,262 |
| 11 | 95% | 4,917 | 5,187 | 4,281 | 2,947 |
| 12 | 110% | 5,384 | 4,906 | 3,553 | 2,666 |
| 1 | 106% | 6,058 | 5,694 | 3,997 | 3,308 |
| 2 | 107% | 5,828 | 5,455 | 3,464 | 3,177 |
| 3 | 120% | 6,141 | 5,133 | 3,547 | 3,613 |
| 合計 | | 68,810 | 56,240 | 45,168 | 35,143 |
| 平均増加率 | | 平成19年度 平均アクセス数 | 平成19年度 平均アクセス数 | 平成18年度 平均アクセス数 | 平成17年度 平均アクセス数 |
| | 113% | 5734 | 5113 | 3764 | 2929 |

成果・反省点・課題

- * 19年度に引き続き、市民団体向けIT講座を通しての団体の活用度の向上を図るとともに、連携を開始した「さがす見つかるシステム」との相互協力により、市民にとってのわかりやすい情報提供を心がけたい。

4 資料コーナーの充実

ボランティアやNPO活動関連だけでなく幅広い分野のチラシやポスターを配架掲示して、イベントや講座の開催、ボランティア募集等の多くの情報を提供した。また、調布市のみならず、都内で市民活動の拠点となっているセンターや施設、団体のニュースレターを閲覧と保存のため分野に分けファイルしている。閲覧用の図書や報告書類も積極的に収集している。

(1) 平成20年4月～21年3月に受入れたチラシ等の内訳

| | | | | | |
|--------|-------------|-----------------------------|--------|-------------|----------------------------|
| 内 容 | 講座・講演 | 801件 | 分 野 | 高齢者・子ども | 294件 |
| | イベント | 937 | | ボランティア・市民活動 | 577 |
| | 団体・活動紹介 | 838 | | 障害児・障害者 | 285 |
| | ボランティア募集 | 253 | | 地域・まちづくり | 527 |
| | 助成金 | 223 | | 文化・芸術・スポーツ | 417 |
| | その他 | 724 | | 環境保護 | 145 |
| | スタッフ・メンバー募集 | 88 | | 国際交流・協力 | 133 |
| | 計 | 前4,063 3,489件 (前年度比14%減) | | その他 | 832 |
| | | | | 計 | 前3,373 3,210件 (前年度比4%減) |
| 体 裁 | チラシ | 1,020 | | | |
| | ニュースレター | 797 | | | |
| | ポスター | 285 | | | |
| | パンフレット他 | 294 | | | |
| | 計 | 前2,218 2,396部 (前年度比8%増) | | | |

(2) 主要誌6タイトルを定期購読

| 誌名 | 出版社 | 刊行頻度 |
|-----------|--------------------------|------|
| ネットワーク | 東京ボランティア・市民活動センター | 隔月刊 |
| ウォロ | 大阪ボランティア協会 | 年10回 |
| NPOマネジメント | IIHOE (人と組織と地球のための国際研究所) | 隔月刊 |
| ボランティア | 富士福祉事業団 | 毎月 |

| | | |
|------------|---------------------|-----|
| C'sニュースレター | シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 | 隔月刊 |
| NPOのひろば | 日本NPOセンター | 季刊 |

その他の受入雑誌・・・「月間福祉」(全国社会福祉協議会発行) ホームレスの仕事をつくり自立を応援する「ビッグイシュー日本版」など

(3) 閲覧用図書・報告書類の充実

今年度新規受け入れタイトル・・・108タイトル

| | | |
|------|--------|----|
| <内訳> | 市民活動関連 | 32 |
| | 市民活動支援 | 10 |
| | 福祉関連 | 14 |
| | まちづくり | 7 |
| | 災害 | 7 |
| | その他 | 38 |

本の分類、図書ラベルの貼付、「分野別所蔵リスト」の作成

全図書、レポート類を分類し図書ラベルを貼付し、分野ごとに配架をしている。また、分野別所蔵リストを作成し、利用しやすい工夫をしている。

(4) 視聴覚資料の設置

昨年度から視聴覚資料の設置をおこなった。市民活動支援センターがおこなった過去の事業(えんがわミーティングなど)を掲示することにより、当センターの理解を深め、情報を共有することを目的とした。その他に市民活動や地域情報などに関する視聴覚資料も設置している。

| | |
|--------------|---|
| 市民活動支援センター事業 | 5 |
| その他 | 2 |
| 合計 | 7 |

成果・反省点・課題

- * (1)の内訳で、内容が前年度比14%減、分野が前年度比4%減、体裁が前年度比8%増となっている。これは、以前までチラシ・パンフレット類として受入れていた20誌を雑誌の受入として変更したことによる。来年度は、入力方法・内容の見直しを図り効率的におこなえるようにしていきたい。
- * チラシ配架ラックに分野別の名札を表示し、必要な情報をすぐに手に出来るよう整えた。また、ボランティア募集と関連付けて目立つように書籍を配架したところ、館内でその書籍を読む姿を多く見かけ、ボランティアにも繋がった。常に利用者の立場に立って、欲しい情報が得やすい環境をこれからも整えていきたい。また、ボランティア募集やセンターで開講される講座と関連付けて掲示するなど有効に活用していきたい。

5 ふくしの窓3 - 4面「市民活動支援センターだより」の充実

隔月発行（新聞折込）のふくしの窓の3 - 4面を「市民活動支援センターだより」全面に載せ、ボリューム、内容ともに充実を図った。

6 多様なメディア（媒体）を活用した情報提供

J - COM株式会社（CATV）、調布FM株式会社、タウン誌（182ch、くろすとーく）、地域ポータルサイト（ちょうふどっとこむ）各社のご協力を得て、多角的な情報提供に取り組んだ。

7 市民活動・生涯学習団体ガイドブックの作成

調布市生涯学習情報コーナーと協力し、市内の市民活動団体（NPO法人含む）、生涯学習サークルの紹介冊子を作成した。

8 第28調布ボランティアまつり

調布市内で活動するボランティア・市民活動団体が、活動の発表・展示・体験・実演、模擬店、バザー等を通して広く市民に活動への参加・交流を呼びかけることを目的に実施した。

事業の目的としてはさまざまな側面があるが、PR要素が強いということで、この項に記載している。

| | |
|------|------------------------------------|
| 開催日時 | 4月19日（土）午前9時45分～午後3時 |
| 会場 | 調布市市庁舎前庭 |
| 内容 | 活動の発表・展示・体験・実演、模擬店、バザーなど |
| 参加者 | 約500人 |
| 主催 | 調布市社会福祉協議会 第28回調布ボランティアまつり実行委員会 |
| 後援 | 調布市 調布市教育委員会 |

（1）参加団体 32団体

| | 団体名 | 内容 |
|---|---------------------|-----------------------|
| 1 | エールの会 | 展示、ゲームコーナー |
| 2 | NPO京王断酒会 | 酒害相談、アルコールパッチテスト体験 |
| 3 | 菊野台点字サークル | 点字体験 |
| 4 | グループなごみ茶屋 | 販売 |
| 5 | 高次脳機能障害者のつどい 調布ドリーム | 模擬店、展示、ステージ発表「演奏・ダンス」 |
| 6 | ご近所支えあい隊 | 販売 |
| 7 | CCD | 模擬店 |

第3部 市民活動支援センター

| | | |
|----|------------------------------|---|
| 8 | 手話サークル くすの木 | 手話体験 |
| 9 | 手話サークル「調布の会」 | ステージ発表「手話コーラス」 |
| 10 | 障害を負う人々・子ども達と「共に歩む」ネットワーク | 販売、展示 |
| 11 | 深大寺 人と緑と犬の会 | 販売、捨犬保護活動紹介 |
| 12 | スペース・クッション | 販売 |
| 13 | SOGIサポートセンター Lin MC Group | 葬送相談、手相占い |
| 14 | 大正琴ボランティア「楓会」 | 大正琴体験 |
| 15 | たんぼぼネットワーク | ステージ発表「紙芝居」 |
| 16 | 調布明るい社会づくりの会 | 販売 |
| 17 | 調布災害時ボランティアコーディネーターの会（調布SVC） | ほのぼのあかり体験、アルファ米の試食、ステージ発表「三角巾を使用した応急救護」 |
| 18 | 調布市登録手話通訳者の会 | 舞台手話通訳 |
| 19 | 調布市立第三中学校吹奏楽部 | ステージ発表「吹奏楽・合唱」、ブース手伝い |
| 20 | 調布地域猫の会 | 販売、展示 |
| 21 | 調布の自然学習ボランティア | 販売 |
| 22 | 調布ボランティア連絡会 | 展示 |
| 23 | 調布まちづくり市民フォーラム | 模擬店、販売 |
| 24 | 調布WAT | 販売 |
| 25 | 東京YWCA国領センター | 販売、展示 |
| 26 | ひまわりグループ | 販売 |
| 27 | 姫としもべ | ステージ発表「バンド演奏」 |
| 28 | ホットなハウス | 販売、福祉相談 |
| 29 | ボランティアグループ だんでらいおん | ゲームコーナー、茶席、発表「手話コーラス」 |
| 30 | まちっこくん | 販売 |
| 31 | わりばしりサイクルグループ 「くるりん」 | 販売、展示、わりばし回収 |
| 32 | 調布市社会福祉協議会 | ボランティア・市民活動相談、模擬店、ステージ発表「人形劇」 |

(2) 実行委員会の開催状況

| 回数 | 開催日時 | 開催場所 | 内容 |
|-----|-----------------------------------|--------------------|-----------------------|
| 第1回 | 平成19年度 10月15日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201会議室 | 実行委員会の立ち上げ、世話人の選出について |
| 第2回 | 12月10日(月) | 総合福祉センター | 実行委員長・副実行委員長の決定、 |

第3部 市民活動支援センター

| | | | |
|-----|----------------------------------|------------------------|--------------------------------------|
| | 午後6時30分～8時 | 201・202会議室 | 実施要領について、開催日時について、参加団体の確認、役割分担について |
| 第3回 | 1月21日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201会議室 | テーマについて、参加団体の内容・備品の確認、会場配置の検討、広報について |
| 第4回 | 2月18日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201・202会議室 | 参加内容・会場配置の最終確認、広報について、前日・当日の準備について |
| 第5回 | 3月10日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201・202会議室 | 搬入・搬出について、前日・当日の準備について、広報について |
| 第6回 | 平成20年度 4月14日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201・202会議室 | 最終確認、実施決定の判断について |
| 反省会 | 5月12日(月) 午後6時30分～8時 | 総合福祉センター 201・202会議室 | 反省会 |

成果・反省点・課題

- * ここ数年間で一番多い32団体が参加し、団体同士のつながりが広がっているが、来場者はそれほどの伸びがなかった。いかに市民に来てもらえるような内容にするかが課題。

9 第17回菊野台ボランティアまつり

| | |
|------|--|
| 開催目的 | 菊野台地区で活動しているボランティアグループ、およびボランティア活動に関心がある人が一堂に会し、日頃の活動を紹介するとともに、相互交流をはかり、ボランティア活動に関する情報提供、および地域の人々への啓発を目的として行う。 |
| 日時 | 5月31日(土) 午前10時～午後3時 |
| 内容 | ボランティアグループの紹介・体験コーナー(点字)、模擬店、ミニバザー、外国人による日本語スピーチ、中学生の合唱、住宅修理相談コーナー、包丁とぎ、鉢物の販売、情報交換、交流、啓発、各種相談コーナー |
| 会場 | 菊野台地域福祉センター |
| 参加者数 | 参加団体21団体 来場者約350人 |
| 運営 | 菊野台ボランティアまつり実行委員会 |

10 菊野台地域福祉センター 交流のかけはし への参加

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 地域福祉センターを定期的に利用している団体が年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、財団法人コミュニティ振興財団主催により開催。 |
| 開催日時 | 9月27日(土)・28日(日) 午前10時～午後3時30分 |

| | |
|------|-------------------|
| 会 場 | 菊野台地域福祉センター |
| 参加内容 | コーナーの紹介、交流、相談コーナー |

1 1 平成20年度富士見ふれあいのつどい(小地域交流事業を兼ねる) 再掲

| | |
|------|--|
| 開催目的 | 地域にある福祉団体や施設、学校、ボランティア団体が参加し、実行委員として企画・運営にかかわり交流を図りながら、ともに地域福祉の向上を図ることを目的として年1回開催している。 |
| 日 時 | 6月14日(土)午前10時~午後3時 |
| 会 場 | 富士見地域福祉センター |
| 内 容 | 舞台発表、模擬店、リサイクルバザー、自主製品展示・販売、各種相談コーナー、ゲームコーナー、工作コーナー、参加型イベント |
| 参加者数 | 参加団体35団体、個人2人、来場者450人 |
| 運 営 | 小地域交流事業「富士見ふれあいのつどい」実行委員会 |

1 2 「うたごえ喫茶IN富士見」(小地域交流事業) 再掲

| | | | |
|-------|--|----------------------|----------------|
| 開催目的 | 老若男女問わず、懐かしい唱を皆と一緒に声を合わせて歌うことで、楽しみながら元気になるふれあい交流の場づくりとして、毎月1回定期的に開催している。 | | |
| 日 時 | 4月19日 74人 | 11月15日 71人 | |
| 参 加 者 | 5月17日 74人 | 12月20日 74人 | クリスマス交流会 |
| | 7月19日 62人 | 1月17日 75人 | |
| | 8月16日 49人 | 2月21日 78人 | |
| | 9月20日 55人 | 3月21日 62人 | |
| | 10月18日 68人 | いずれも土曜日午後1時30分~3時30分 | |
| 会 場 | 富士見地域福祉センター大集会室 | | |
| 演 奏 | ピアノ伴奏 佐伯恵美氏 | 参加費 | 300円(歌集、飲み物つき) |
| 参加者数 | 延べ742人(各回平均67人) 市内全域から参加の高齢者が昔を懐かしむように歌っている。 | | |
| 運 営 | 小地域交流事業「うたごえ喫茶IN富士見」実行委員会 | | |

1 3 「ボランティア交流会・ふれあいのつどい準備会」(小地域交流事業) 再掲

| | |
|-----|---------------------------------|
| 日 時 | 平成21年3月14日(土)午前10時~12時30分 |
| 会 場 | 富士見地域福祉センター大集会室 |
| 内 容 | 富士見コーナーを拠点に活動している団体や施設との情報交換と交流 |
| 参加者 | 50人(スタッフ6人) |
| 予 算 | 小地域交流事業費(門前そば打ちクラブの手打ちそば) |
| 運 営 | 富士見コーナー推進委員 |

1.4 富士見コーナー推進委員会の開催

富士見コーナーの活性化を図るとともに、地域の活動を支援し、ボランティア活動の推進発展のため事業の企画、運営を担う目的で開催。

| 開催日時 | 出席者 | 内 容 |
|----------|-----|--|
| 7月29日(土) | 6人 | ボランティア入門講座「はじめの一步」、脳トレ健康マージャン ふれあい健康体操等事業企画検討 |
| 9月30日(火) | 4人 | ふれあい健康体操準備、運営 |
| 1月29日(木) | 6人 | ボランティア交流会企画、準備 次年度事業計画 |

1.5 富士見地域福祉センター 交流のかけはしへの参加

| | |
|------|---|
| 事業内容 | 地域福祉センターを定期的にご利用している団体が、年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、財団法人コミュニティ振興財団主催により開催 |
| 開催日時 | 11月9日(日)午前10時～午後3時30分 |
| 会 場 | 富士見地域福祉センター |
| 参加内容 | コーナー紹介、相談コーナー、リサイクルバザー、模擬店 |

1.6 第12回ボランティアまつり染地

| | |
|------|---|
| 開催目的 | 地域で活動するボランティア・市民活動団体、当事者団体、施設、地域のミニデイ・サロン、学校などが交流し、地域のボランティアの輪を広げる |
| 開催日時 | 5月18日(日)午前9時30分～午後3時 |
| 会 場 | 染地地域福祉センター |
| 内 容 | 「みんなあつまれ、ともだちになろう」をテーマに、参加団体に実行委員会へ参加し、ともに作り上げることの大切さを呼びかけた。今年は第三中学校吹奏楽部の保護者と生徒が100人以上当日手伝いに入り、盛り上がった。 実行委員会4回開催 活動紹介、模擬店、作品展示販売、バザー、相談コーナー、他に子供コーナー |
| 参加者数 | 参加団体38団体 9個人ボランティア(新規参加8団体) 来場者500人 |

1.7 染地ボランティア連絡会

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 個々で活動しているグループがお互いの活動を知り交流を深め、地域のネットワークづくりを目指して、平成18年9月5日に発足。ボランティアまつり後、2ヵ月に1回開催。 |
| 開催日時 | 第1回7月12日(土) 12人 |
| 参加者数 | 第2回9月13日(土) 15人 |
| | 第3回 11月15日(土) 15人 |
| | 第4回 1月10日(土) 18人 定例会4回 |

| | |
|-----|------------|
| 会 場 | 染地地域福祉センター |
|-----|------------|

18 染地ボランティア連絡会の活動

| 内 容 | 開催日時 |
|-------------------|---|
| りはびりまーじゃん | 9月14日(火)より第2・4火曜日 計14回開催 |
| マイパソコン教室 | 10月18日、11月15日・29日、12月13日 いずれも土曜日 計4回開催 |
| 第4回ちょうふみんなの夢ツリー参加 | 12月18日(木)～26日(金) |
| 講習会開催 | |
| 第1回 あなたもできる人命救助 | 8月9日(土) 参加者11人 |
| 第2回 後期高齢者医療制度 | 10月23日(木) 参加者14人 |
| 第3回 火災報知機の設置義務化 | 1月31日(土) 参加者18人 |

19 緑ヶ丘・仙川ふれ愛のつどい(第8回緑ヶ丘ボランティアまつり) 再掲

| | |
|------|---|
| 開催目的 | ボランティアまつりと小地域交流事業を同時開催することによって地域の福祉施設、学校、児童健全育成団体、自治会、老人クラブ等、建設労組、まちづくりの協議会など多種多様なボランティア・市民活動団体が出会い、交流を行いながら地域福祉の向上をはかることを目的に開催。子どもとの交流を願い、児童館まつりと同日開催で実施。 |
| 日 時 | 10月19日(日) 午前10時～午後3時30分 |
| 会 場 | 緑ヶ丘地域福祉センター |
| 内 容 | 活動紹介・発表、手作り品販売、縄跳名人(筑波跳職)、手話ソング・合唱(手話らんど&あいことば)、和太鼓(風真)、マンドリン演奏(白百合女子大学)、歌・踊り(ふれあい給食)、キッズダンス(Bless You Dance Company)、日本舞踊(花柳寿乃登勢)合唱(ハッピーライフクラブ)、みんなで歌おう(童謡を歌う会)、みまもっと体操・血圧測定&相談(地域包括支援センター仙川)、よさこい(皆さん)、クッキー販売(希望の家)、お茶席(緑樹会)、バザー(白百合女子大学)、木島平特産品販売(新鮮屋)、佃煮販売(わりばしくるりん)、味噌田楽(西部自治会)、焼きそば(ボーイスカウト調布第10団)、ポップコーン(緑風会)、お団子販売(2丁目自治会)カフェ&生チョコ・バザー(ボランティア連絡会) |
| 参加者数 | 参加団体23団体、来場者166人 |

20 交流のかけはし・緑ヶ丘への参加

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 地域福祉センターを定期的に利用している団体が年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、交流のかけはし緑ヶ丘実行委員会主催、財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団協力により開催。 |
| 開催日時 | 11月8日(土)、9日(日) 午前10時～午後3時 |
| 会 場 | 緑ヶ丘地域福祉センター |

| | |
|------|-------------------|
| 参加内容 | コーナーの紹介、交流、相談コーナー |
|------|-------------------|

第3 ボランティア・NPO・市民活動団体、個人の活動支援

1 スペース・設備の貸出し

市民活動団体の会議、作業、打ち合わせなどさまざまな目的に応じてスペースを貸出し、その運営管理を行った。

(1) 市民活動支援センター（国領）来館者およびはばたき利用状況 来館者数推移

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 来館者数 | 2,299人 | 2,635人 | 2,800人 | 3,345人 | 2,493人 | 2,846人 |
| 一日平均 | 79.3人 | 90.9人 | 96.6人 | 111.5人 | 83.1人 | 98.1人 |
| 前年度同月比 | 112% | 114% | 99.5% | 113% | 117% | 109% |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 来館者数 | 3,185人 | 2,864人 | 2,379人 | 2,707人 | 3,305人 | 2,889人 |
| 一日平均 | 106.1人 | 98.8人 | 88.1人 | 96.7人 | 122.4人 | 96.3人 |
| 前年度同月比 | 116% | 114% | 110% | 114% | 122% | 108% |

活動スペースはばたき・OAコーナー利用者数

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 月間利用者数 | 2,141人 | 2,311人 | 2,486人 | 2,715人 | 2,116人 | 2,498人 |
| 一日平均 | 73.8人 | 79.7人 | 85.7人 | 90.5人 | 70.5人 | 86.1人 |
| 前年度同月比 | 122% | 112% | 104% | 114% | 115% | 126% |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 月間利用者数 | 2,808人 | 2,488人 | 1,996人 | 2,312人 | 2,865人 | 2,468人 |
| 一日平均 | 93.6人 | 85.8人 | 73.9人 | 85.6人 | 106.1人 | 82.3人 |
| 前年度同月比 | 127% | 119% | 117% | 106% | 121% | 99% |

【利用内訳】

| | 19年度 | 20年度 | 増減率 |
|----------|--------|--------|------|
| 活動 | 2,024件 | 2,073件 | 102% |
| 会議、打ち合わせ | 1,027件 | 1,218件 | 119% |
| パソコン利用 | 3,879件 | 4,366件 | 113% |
| 学習 | 1,552件 | 2,516件 | 162% |
| その他 | 547件 | 1,088件 | 199% |
| 展示 | 7件 | 6件 | 86% |

年間来館者・利用者数総計と利用内訳

【総数】

| | 19年度 | 20年度 | 増減率 |
|------|---------|---------|------|
| 来館者数 | 30,074人 | 33,747人 | 112% |
| 利用者数 | 25,465人 | 29,204人 | 115% |
| 相談件数 | 391件 | 251件 | 64% |

相談件数について

相談として捉える内容について整理し、道案内やその場で完結する簡易なものを外している。しかし、必要なデータが落ちている面もあり、課題発見や事業の企画立案に際して、有効なデータを正確に蓄積していく方法の検討が必要。

(2) ブランチ活用状況

| 拠 点 | スペースの活用状況 | | 来所者数 | |
|---------|-----------|------|---------|-------|
| | 件 数 | 一日平均 | 人数 | 一日平均 |
| 小島町コーナー | 717件 | 2.1件 | 5,640人 | 17.3人 |
| 菊野台コーナー | 736件 | 4.3件 | 3,078人 | 22人 |
| 富士見コーナー | 298件 | 2件 | 3,279人 | 22人 |
| 染地コーナー | 487件 | 3.5件 | 6,008人 | 44人 |
| 緑ヶ丘コーナー | 161件 | 1.1件 | 1,983人 | 13.9人 |
| 合 計 | 2,399件 | 2.6件 | 19,988人 | 23.8人 |

(3) メールボックス、ロッカーの貸し出し(国領)

活動室内に設置されているロッカーおよびメールボックスを希望する市民活動団体に貸出し、その運営管理を行った。

| 内 容 | 20年度 | 19年度 |
|-------------|------|------|
| メールボックス利用件数 | 37件 | 43件 |
| ロッカー利用件数 | 89件 | 70件 |

2 ボランティア保険・行事保険の加入受け付け

ボランティア保険への加入促進の呼びかけと加入手続きの事務を取り扱った。

| | | | |
|-------------------------|-----------|--------|---------|
| ボランティア保険加入者数(通年保険・受付随時) | | 2,941人 | |
| 行事保険加入件数 | A型(日帰り行事) | 977件 | 21,663人 |
| | B型(宿泊行事) | 24件 | 635人 |

3 無線 LAN スポット運営(小島町)

平成16年度よりセンターの利用価値向上、情報分野からの市民活動支援を目的として無線 LAN のポイントを調布市総合福祉センター2階フロアに設置。これにより活動室、会議室、交流スペースなど2階一帯において、各自持ち込みのパソコンでインターネット接続が可能になっている。

サービス名: Free Spot (フリースポット協議会提供・バッファロー株式会社)

方 式 : IEEE802.11b

利用方法: 窓口で利用規約および利用登録申請書入手。(あるいはホームページよりダウンロード) 規約に同意し、申請書に必要事項を記入して提出。ESSID(SSID)と暗号化キー(WEP)を受け取り、利用マニュアルを参照して各自持ち込みのパソコンに設定して利用する。

成果・反省点・課題

- * 利用登録者数79人。個人利用のほか、会議室等利用者で視覚障害者を対象としたパソコン講習会や、障害者・高齢者対象のパソコン学習会の実施に際して利用されていることが多い。
- * フリースポットを設置しているという情報が広まった上、調布駅前に位置する利便性から市民活動団体以外に、学生などがインターネット回線を利用するゲームなどをするために登録することが多い。

4 無線 LAN スポットの設置・運営(国領)

センターの利用価値向上、情報分野からの市民活動支援を目的として無線 LAN のポイントを市民活動支援センター活動スペースはばたきに設置。これによりセンター内 OA コーナーだけでなく、各自持ち込みのパソコンでインターネット接続が可能となっている。

サービス名: Free Spot (フリースポット協議会提供・バッファロー株式会社)

方 式 : IEEE802.11b

利用方法 : 窓口で申請書に必要事項を記入して提出。ESSID(SSID)と暗号化キー(WEP)を受け取り、貸し出し用パソコンまたは各自持ち込みのパソコンに設定して利用する。

成果・反省点・課題

- * フリースポットの運用は、トラブルもなくスムーズにおこなわれている。

5 電話対応代行サービス(国領 有料サービス)

平成17年度より、市民活動団体の支援サービスとして、活動やイベント・講座等に関する問い合わせ、受け付けの電話対応代行サービスを実施している。

| | |
|--------|--|
| 利用料金 | 1,000円/月 (サポーター会員は800円/月) |
| 利用団体数 | 平均月6団体(通年利用3団体、そのほかスポットで10団体) |
| サービス内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の活動に関する問合せ応答代行 ・ 行事、講座などへの内容照会および参加申込受付代行 |

成果・反省点・課題

- * ここ3年間、利用団体の数が増加している、1ヶ月4団体から最大で8団体の利用があり、市民団体・ボランティア団体などにとっては利便性のあるサービスとなっている。
- * 電話代行へ電話をかける利用者にとっては、センターが代行という認識はされていない。そこで、センター職員が正しく対応できるように、また依頼者の依頼の意識の向上も兼ね、対応のQ&A作成例などを提示していきたい。
- * ある団体からは、電話対応代行サービスを利用するようになってから、行事の申込者が増えたとの反応もあり、今後も継続してサービスの提供を行う。

6 市民団体向けIT講座

ボランティア・市民活動団体に所属する市民を対象とし、

インターネットの基本操作を通じての安全・効率的な情報の受発信と市民活動支援センターのホームページの登録団体増加・活用度の向上

ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションの基本的操作を通じての市民活動団体のIT技術活用の機会増大

市民活動支援センターの利用者増加

以上3点を目的として、市内のボランティアネットワーク「やあやあネット」主催の市民団体向けIT講座を調布市とともに共催した。

| 期 | 開催日 | 参加者数 | スタッフ |
|---------------------|-----------------------------------|------|------|
| 第1期(全5回) 午後6時30分 | 9月3日、10日、17日、24日、10月1日 いずれも水曜日 | 6人 | 5人 |

| | | | |
|--------------------------------|---|----|----|
| ～ 8時30分 | 会場：活動スペースはばたき、会議室1 | | |
| 第2期(全5回) 午後6時30分 ～ 8時30分 | 10月29日、11月5日、12日、19日、26日 いずれも水曜日 会場：活動スペースはばたき、会議室1 | 8人 | 5人 |
| 第3期(全5回) 午後6時30分 ～ 8時30分 | 1月14日、21日、28日、2月4日、11日 いずれも水曜日 会場：活動スペースはばたき、会議室1 | 6人 | 5人 |
| 第4期(全5回) 午後6時30分 ～ 8時30分 | 2月25日、3月4日、11日、18日、25日 いずれも水曜日 会場：活動スペースはばたき、会議室1 | 8人 | 5人 |

成果・反省点・課題

- * 団体の活動のPRを効率的にするためにプレゼンテーション講座を行い、マイクロソフト社のPowerPointを使用した講座を行った。初めてPowerPointに触れる参加者も全5回の最終回には自らの団体の紹介をプレゼンテーションすることができた。
- * 活動の紹介や新規メンバーへ勧誘のために市民活動支援センターのホームページを活用することができるということを認識してもらうと同時に、講座に参加した団体同士での交流が生まれた。
- * 団体の活動をより効率的にするため、マイクロソフト社のWordやExcelの講座も行った。

7 NPO法人設立・運営に関する講座

社会課題の解決に取り組むべく、組織的に活動するNPO団体の活動を支援し、あたらしい活動、あたらしい団体の誕生を支援することを目的としてNPO会計講座、NPO法人設立講座を実施した。

(1) えんがわマネー講座 『イチからわかるNPO会計』

| | | | | |
|-----|---------------------------|---------------------------------------|------|-----|
| 第1回 | 日時 | 11月20日(木)午後6時～8時 | | |
| | 会場 | 市民プラザあくろす会議室1 | 参加人数 | 23人 |
| | 内容 | テキストを使用した講義(NPOに必要な会計書類、作成の注意点、会計の基礎) | | |
| 第2回 | 日時 | 11月27日(木)午後6時～8時30分 | | |
| | 会場 | 市民プラザあくろす会議室1、 活動スペース「はばたき」 | 参加人数 | 23人 |
| | 内容 | 前半は講義、後半は個別相談会 | | |
| 講師 | 脇坂 誠也さん(NPO支援会議東京副代表、税理士) | | | |
| 費用 | 全2回 1,000円 | | | |

成果・反省点・課題

- * やはり、会計講座のニーズは高いことがうかがえる。講師の脇坂さんは事例を交えながらの丁寧な講義が評判で、今回も受講者からは分かりやすい、と好評であった。また、第2回の講義終了後には、NPO支援会議東京に登録する税理士・会計士の方々4名で個別相談に応じるコーナーを実施したほか、NPO会計担当者向けのメーリングリストがあるなど、フォローアップの場もあり、こういう機会はめったに得られないと、評価が高かった。しかしながら、受講希望者からの事前の声や一部の受講者からは演習方式やステップアップ講座の開催要望も多く、そのニーズに応えていく必要があるのではなだろうか。

(2) NPO入門講座

第1回

| | | | |
|----|--|------|-----------|
| 日時 | 8月30日(木)午後7時～9時 | 費用 | 500円(資料代) |
| 会場 | 市民プラザあくろす会議室1 | 参加人数 | 9人 |
| 講師 | 市民活動支援センタースタッフ NPO法人市民活動推進協会専務理事 横山泰治氏 | | |
| 内容 | NPOについての説明、NPO法の解説、法人化の意義、必要な実務、NPO法人として活動している団体の体験談 | | |

第2回

| | | | |
|----|--|------|-----------|
| 日時 | 3月26日(木)午後7時～9時 | 費用 | 500円(資料代) |
| 会場 | 市民プラザあくろす会議室1 | 参加人数 | 6人 |
| 講師 | 市民活動支援センタースタッフ NPO法人市民活動推進協会専務理事 横山泰治氏 | | |
| 内容 | NPOについての説明、NPO法の解説、法人化の意義、必要な実務、NPO法人として活動している団体の体験談 | | |

成果・反省点・課題

- * 少人数の定員設定にして、参加者一人ひとりのニーズや疑問に対応できる講座内容を目指したところ、参加者アンケートでは満足度を上げることができた。今後もよりニーズに即した講座にしていきたい。
- * 本講座から実際にNPO法人設立に至ったケースは把握している限りないので、いかに実際の活動につなげることができるかが課題。

8 使用済み切手、カード類の回収

「使用済み切手、カード類」の回収のため、市役所、地域福祉センター、郵便局等に回収箱を設置。企業、老人クラブ、幼稚園、小学校、市民からの寄付・回収された切手・カード類は、ボランティア団体の協力により整理され、年4回換金した。

| 種 類 | 売上げ金額 | 換金日 | 備考 |
|---------------------|---------|-----------------|---|
| カード類 書き損じ ハガキ | 45,300円 | 9月30日 | テレホンカード その他のカード |
| | 9,505円 | 3月30日 | テレホンカード・その他のカード 書き損じハガキ |
| 切手類 | 23,678円 | 8月25日 | 日本記念切手(台紙あり) 1kgあたり1,200円 外国切手(台紙あり) 1kgあたり2,000円 束ね切手 25束あたり 500円 |
| | 6,737円 | 9月3日 | 日本通常切手(台紙なし) 1kgあたり1,000円 外国切手(台紙あり) 1kgあたり2,000円 束ね切手 25束あたり 500円 |
| | 24,600円 | 9月30日 | 外国切手(アルバム) その他 |
| | 32,810円 | 3月30日 | 日本通常切手(台紙なし) 1kgあたり1,000円 外国切手(台紙あり) 200円 記念切手(台紙あり) 1kgあたり1,000円 束ね切手 25束あたり 500円 |
| 合計金額 | | 142,630円 | |

9 入れ歯リサイクル活動への協力

特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会が実施している入れ歯リサイクル活動に協力し、調布市総合福祉センター1階に回収ボックスを設置した。

この活動によって得られる益金の一部(40%)は調布市社会福祉協議会に配分され、その配分金全額が「えんがわファンド」の資金として活用される。

20年度は、17,422円が配分された。

10 NPO・市民活動団体への情報ペーパー「エンガワンK」配布

NPO・市民活動団体が日々の運営や活動において、共通の質問や課題としている内容を、A5サイズの紙にまとめた「エンガワンK」を引き続き配布した。栄養ドリンクのように見えるパッケージの裏側に、「会議」、「イベント」、「広報」をテーマに作成している。

| 内容 テーマ | 総合編 | 地域情報編 | グッズ編 |
|-----------------------|---|--|---|
| 会議で悩んで いませんか？ | 活発な会議とは？ 【内容】 進行についてのアイデア等 【配布数】約100部 | 会議しやすい施設とは？ 【内容】 市内の会議可能施設紹介 【配布数】約100部 | 会議上手のグッズとは？ 【内容】 会議時に使えるグッズ紹介 【配布数】約100部 |
| イベント成功 していますか？ | 成功するイベントとは？ 【内容】 イベント企画時の注意点等 【配布数】約100部 | 市内のイベント施設は？ 【内容】 市内の屋外施設紹介等 【配布数】約100部 | イベントお役立ちグッズとは？ 【内容】 用意しておく便利グッズ 【配布数】約100部 |
| 広報は上手に されていますか？ | 伝わる広報とは？ 【内容】 広報のアイデア等 【配布数】約100部 | 市内で広報するには？ 【内容】 広報のアイデア等 【配布数】約100部 | 広報役立ちグッズとは？ 【内容】 グッズ編 ～作成中～ |
| 事務は 効率的ですか？ | 効率的な事務とは？ 【内容】 事務作業のヒント等 ～作成中～ | 効率的な事務とは？ 【内容】 市内情報編 ～作成中～ | 効率的な事務とは？ 【内容】 グッズ編 ～作成中～ |
| インターネットは 活用していますか？ | 活用するには？ 【内容】 情報検索編 ～作成中～ | 活用するには？ 【内容】 団体情報発信編 ～作成中～ | 活用するには？ 【内容】 イベント情報発信編 ～作成中～ |

成果・反省点・課題

- * A5一枚で読み易くまとめていることから、多くの市民活動支援センターの利用者の方に読んでもらうことができた。
- * 「事務編」や「インターネット編」など、新しい内容・テーマを検討していたが、20年度内に発行ができなかった。

1.1 市民活動助成事業「えんがわファンド」の実施

18年度より実施している助成金プログラム。幅広い分野の市民活動や児童・生徒のボランティア活動・地域活動を支援すること、また本助成事業を通して、団体同士、あるいはセンターと団体が相互に交流し、協力しあう関係を構築することを目的に実施した。

この助成金は、市民や企業等からいただいた寄付やサポーター会費、ちょうふチャ

リティーウォーク参加費、共同募金配分金、入れ歯リサイクルによる益金等、様々な資金を活用して運用している。

(1) 選考

選考委員会の開催状況

| | |
|-----|--|
| 開催日 | 6月24日(火)午後7時～9時 |
| 会場 | 市民プラザあくるす研修室2 |
| 内容 | 各団体から提出された申請書により、助成団体を選考 応募団体23団体の中から、17団体に助成決定 |

選考委員 (敬称略・50音順)

| | |
|--------|----------------------------------|
| 金子 日出澄 | 市民活動支援センター運営委員、市民活動支援センター長 |
| 熊谷 紀良 | 市民活動支援センター運営委員、東京ボランティア・市民活動センター |
| 阪井 伸子 | 市民活動支援センター副運営委員長 |
| 南條 勉 | ちょうふチャリティーウォーク2008実行委員長 |
| 橋本 郁子 | 調布災害時ボランティア・コーディネーターの会代表、民生児童委員 |
| 山口 昌之 | 市民活動支援センター運営委員長 |
| 和田 敏明 | 市民活動支援センター運営委員、ルーテル学院大学教授 |

...選考委員長

(2) 助成団体 計17団体 助成総額 882,371円 (申請順)

| | 団体名 | 助成額(円) | 助成内容 |
|---|-----------------------|----------|---------------------------------|
| 1 | 調布市立第三中学校吹奏楽部 保護者会 | 60,000 | 地域に根ざした活動を行う吹奏楽部の支援 |
| 2 | だいこん葉の会 | 37,500 | 一人暮らし高齢者を招いての昼食会 |
| 3 | ボランティア ドングリの森 | 35,802 1 | 郷土樹種による森づくりの前段階としてのポット苗づくり |
| 4 | 深大寺人と緑と犬の会 | 100,000 | セラピー犬活動(福祉施設訪問)を行う犬・飼い主ペアの育成 |
| 5 | SPC ネット多摩 | 22,000 | グリーンフェアー |
| 6 | 特定非営利活動法人 エクセルシア | 50,000 | 交通事故防止のための自動録画装置(ドライブレコーダー)取り付け |
| 7 | だるチャンス | 49,069 2 | 深大寺だるま踊り復活のための、はりぼてだるまの製作 |

第3部 市民活動支援センター

| | | | |
|-----|-----------------------|---------|--------------------------------|
| 8 | ぼけっと(障害者・青年の集い) | 50,000 | 作業所等に通う障害者の余暇活動 |
| 9 | 調布わいわいサロン | 20,000 | 地域デビュー支援の促進 |
| 10 | メタボリック・ぱぴーず | 98,000 | 福祉施設や地域のイベントでのバンド演奏 |
| 11 | 双花 はな | 40,000 | 視覚障害者の生け花教室 |
| 12 | 飛田給福祉のまちあるき実行委員会 | 50,000 | 飛田給地域のまちづくり |
| 13 | 地域リフレの会 エーデル | 100,000 | 介護者を中心とした地域住民のストレス解消と情報交換の場の提供 |
| 14 | ディスコパーティー実行委員会 | 50,000 | バリアフリーイベント「ディスコ大パーティー」の実施 |
| 15 | 調布市立第二小学校 | 20,000 | 特別養護老人ホーム「八雲苑」への児童の訪問活動 |
| 16 | 調布市立富士見台小学校 | 40,000 | 児童の高齢者に対する理解を深める活動 |
| 17 | 特定非営利活動法人 リフレッシュ工房 | 60,000 | 作業所通所者が制作した美術品のグループ展 |
| 合 計 | | 882,371 | |

- 1 助成額は40,270円だったが、事業終了に伴う清算により、4,468円の返金となった。
- 2 助成額は50,000円だったが、事業終了に伴う清算により、931円の返金となった。

(3) 交流会 平成21年度に実施

| | |
|-------|------------------------------------|
| 日 時 | 平成21年4月11日(土)午後1時30分～3時30分 |
| 会 場 | 市民活動支援センター「はばたき」 |
| 内 容 | 助成団体による報告(ポスターセッション)、選考委員による講評、懇親会 |
| 参 加 者 | 43人 |

(4) 寄付金等

20年度に「えんがわファンド」にいただいた寄付金等は以下のとおり。

| 提供者・概要 敬称略 | 金 額 |
|-----------------------|----------|
| 調布市商工会青年部 | 225,326円 |
| ちょうふチャリティーウォーク2008参加費 | 261,725円 |
| サポーター会費 | 120,000円 |

| | |
|------------|-----------|
| 入れ歯リサイクル益金 | 17,422 円 |
| 合計 | 624,473 円 |

成果・反省点・課題

- * 一団体上限10万円、総額100万円という、他助成金と比較して小規模な助成金だったが、地域に根ざした活動を行っている多くの団体から応募があった。
- * 市民活動支援センター運営委員やスタッフが直接団体の活動を見に行き、話を伺ったことで、助成団体とセンターとの「顔の見える関係」をつくるとともに、団体の課題やセンターに対する要望などもヒアリングすることができた。そういった団体の声を、今後のセンター事業に活かしていきたい。
- * 平成20年度は企業や団体から寄付をいただいたほか、ちょうふチャリティーウォーク参加費や入れ歯リサイクルの益金等、新たな資金も導入し、ファンドを運用した。来年度も市民や企業等に寄付を募るとともに、様々な資金調達方法を検討していきたい。

第4 ボランティア・NPO・市民活動団体、企業や行政との協働

1 専門家による高齢者・障害者世帯の無料家具転倒防止工事の受付

災害時の家具転倒対策が自力では難しい高齢者・障害者世帯を対象に、建設産業に従事する職員の労働組合「東京土建」が無料で実施する、家具転倒防止工事の広報と受付を行った。

| | |
|------|--------------------------|
| 実施日時 | 11月16日(日)午前10時～12時 |
| 対象者 | 市内在住の高齢者(65歳以上)・障害者のみの世帯 |
| 内容 | 一室分の家具の転倒防止金具の取り付け作業 |
| 工事件数 | 8件 |
| 料金 | 一部屋に限り無料 |
| 主催 | 東京土建一般労働組合調布支部 |

成果・反省点・課題

- * 阪神・淡路大震災では、犠牲者の80%以上が家具による圧死との事例があり、家具転倒防止工事は有効な防災手段となっている。しかし、高齢者や障害者のみの世帯では対策をとることが難しいため、そうした方々を対象に、工事を無料で行っていることは非常に有意義なことだと思われる。
- * ここ数年、定員(20件)を下回る申込みが続いている。当事業の有効性を、高齢者や障害者世帯にどのように周知していくかが課題。

2 調布市総合防災訓練への参加

いざというときの対応に備えるシミュレーションとして、調布市が実施する調布市

総合防災訓練に参加予定だったが、雨天のため中止となった。

成果・反省点・課題

- * 大規模災害に対応できるように、平常時から他機関と「顔の見える関係」づくりを進めていきたい。

3 市民のための災害講座「体験してみませんか？避難所生活！」の実施
市民の災害に関する意識を高めることを目的に、調布災害時ボランティア・コーディネーターの会と共催で開催している。20年度は、上ヶ給自治会からの依頼で実施した。

| | |
|------|---|
| 実施日時 | 11月16日(日)午前9時～12時 |
| 会場 | 調布市立第二小学校 |
| 内容 | 防災備蓄倉庫の見学、濾水器・簡易トイレ・発電機体験、段ボール間仕切り・照明(ほのぼのあかり)作成、グループ討議 |
| 参加者数 | 66人 |
| 主催 | 上ヶ給自治会 |
| 共催 | 調布災害時ボランティア・コーディネーターの会 社会福祉法人調布市社会福祉協議会 |
| 協力 | 調布市総務部総合防災安全課 調布市立第二小学校 |

成果・反省点・課題

- * 19年度に第二小学校で開催した際に参加されていた方から、「避難所体験を自治会の防災訓練で実施したい」との依頼をいただき、開催した。今後も自治会等の防災訓練で本講座を取り入れてもらうよう、PRしたい。
- * プログラム内容を検討・改良し、より避難所を想定した、実践的な講座にしていきたい。
- * 地域住民向けの開催ができなかった。来年度は会場となる小中学校にも積極的に働きかけ、本講座を開催したい。

4 やあやあドリームオールスターズ「こどもあそび博覧会5」実施協力
学校と地域の連携を深め、「地域で子どもを育もう」という視点で、市民活動団体が中心となって実行委員会を立ち上げ開催したイベントに共催した。

市民活動団体や個人が、体験型・参加型のさまざまなブースを設け、親子や友達同士また地域の人たちとふれあいながらいろいろな気づきを得られることを目的として実施。

| | |
|----|--------------------|
| 日時 | 10月4日(土)午前10時～午後3時 |
|----|--------------------|

第3部 市民活動支援センター

| | |
|----|---|
| 会場 | 調布市立飛田給小学校 |
| 主催 | やあやあドリームオールスターズ2008実行委員会 |
| 共催 | やあやあネットワーク、社会福祉法人調布市社会福祉協議会 |
| 協賛 | 調布市 |
| 協力 | 調布市立飛田給小学校、同PTA、同健全育成地区委員会、同開放運営委員会、長野県木島平村 |
| 後援 | 調布市教育委員会 |

(1) 参加チーム一覧

| チーム名 | 参加内容 |
|-------------------------------|---|
| さるすべり | 視覚障害の方でも楽しめるスル ネットピンポン体験 (音の出るピンポンをネットの下で転がすものです。) |
| 手話サークルくすの木 | ・参加された方々に簡単な手話指導(例:あいさつ、名前) ・体験を通して一般の方に聴覚障害をご理解いただけるように。 ・啓発を行う。 |
| 菊野台点字サークル | ・点字で名刺を作成する。 ・点字で名前シール作成する。 ・その他、点字を打つ体験 |
| おはなしキャンプ | 体験絵本の世界～巨大シャボン玉に入ろう～ 本・絵本などの展示・フリースペース、巨大シャボン玉に入ろう、絵本の読み聞かせ。 |
| 東京電力(株)武蔵野支社 | フルーツを使用した実験 (レモン電池) |
| 電通大「おもちゃの病院」 | 壊れたおもちゃ、壊してもいいおもちゃを持ち寄り、先生と子どもたちと一緒に分解・修正し、動く仕組みを学ぶ。 |
| 東京お手玉の会 | ・俵型のお手玉を作る ・いろいろな遊び方を覚える ・級位に挑戦する |
| あむあむサークル | 「プリンアラモード」 粘土でおいしく見えるプリンを作ろう。生クリームものせるよ! |
| 特定非営利活動法人 ちょうふ子どもネット(CAPS) | サンドブラストを利用し、ビンやタイルに模様をつける体験。 |
| ボランティアグループ だんでらいおん | 手作りゲームコーナー、茶道体験 |
| 調布女性ヒューマニズム会議 | 「キミは日本人?地球人?」 ビデオ上映及びパネル展示 |

第3部 市民活動支援センター

| | |
|--|--|
| ヒップファミリークラブ | たくさんの”ことば”で世界の人と仲良くなるう |
| 特定非営利活動法人 全国教育ボランティアの会 | 「コンニャク作り」 こんにゃく粉からコンニャクを作って、「さしみコンニャク」と 「田楽」して食べよう。 |
| 特定非営利活動法人 d o b eくらぶ | ブリクラシールでマーク作り |
| 調布市民放送局（C A T C H） | アナウンサー＆レポーター 体験コーナー |
| 調布市体育指導委員会 | ニュースポーツ「合戦」 |
| スーパー紙とんぼの会 | おもり付きのスーパー紙とんぼ作りと、飛ばし方の指導 |
| 特定非営利活動法人 市民活動推進協会 野遊びくらぶ | わら縄であそぼう |
| 和太鼓衆 雅武者 | セレモニー等での和太鼓演奏 |
| 調布市サウディアラビア友好会 | アラビア語で書いてみよう！ |
| 折り紙博士 | レッツ折り紙！ |
| 調布の自然学習ボランティア | 木の笛、竹の笛を作ろう |
| 調布水辺の楽校設立準備会 | ストーンアートで楽しもう！ |
| セラピーサークル マダムポアン | スライム作り |
| 調布少年少女センター | 工作・遊び |
| ボランティア ドングリの森 | 「ドングリのポット苗づくり」 黒ポリポットに土・腐葉土を入れ、そこにドングリを植えても らい、各家庭で育ててもらおう。 木の実を中心としたリース作り。 |
| 首都圏建設産業ユニオン 調布支部 | 「子ども大工さんコーナー」 子ども棟上げ式 カンナ掛け体験コーナー 丸太切りコーナー |
| ガサガサ水辺の移動水族館 水辺の安全教育委員会 (特定非営利活動法人申請準備中) | 多摩川ふれあい / ガサガサ水辺の移動水族館 |
| 調布災害時ボランティア・コーディネーターの会（調布SVC） | つくってみよう！ほのぼのあかり |
| 木島平村 | 間伐材を使用した工作（イス作りなど） |

第3部 市民活動支援センター

| | |
|--------------------------------|--|
| 木島平村新鮮屋 | 信州名物「おやき」の販売 |
| 歴史資料係有志 | でっちくんの玉こんにゃく |
| 飛田給小学校PTA | 健全さんとPTAのゆずりはレストラン |
| 健全育成推進飛田給地区委員会 | (エビにらまんじゅう、いそべ焼、クッキー、フランクフルト、アメリカンドッグ、お茶・ジュースなどの飲み物) |
| わりばしリサイクルグループ「くるりん」 | わりばし回収 |
| 調布FM | セレモニーの司会、放送 |
| 調布市立飛田給小学校 | 会場提供 |
| 調布美術研究所 | ポスター・チラシのデザイン画および入口装飾 |
| 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム(CLIC) | 広報協力 |

(2) 実行委員会開催状況

| 回数 | 実施日 | 会場 | 内容 |
|-----|-----------|----------------------|--|
| | 5月20日(火) | 調布市文化会館 たづくり調理実習室 | 懇親パーティー(第1回から関わってきた方々を一同に会し実施。) |
| 第1回 | 6月19日(木) | 市民活動支援センター | 開催地の交渉状況、参加チーム紹介、実行委員会役員選出、今後のスケジュール |
| 第2回 | 7月18日(金) | 市民活動支援センター | 事前折衝経過説明(PIVOT基金より助成決定の報告)、参加チーム出展内容紹介、チラシ(案)の発表 |
| 第3回 | 8月21日(木) | 市民活動支援センター | 事前折衝経過説明、参加チームの確定、チラシ(案)の検討 |
| | 8月27日(水) | 調布市立飛田給小学校 | 実踏調査の実施。校庭：周囲測定、蛇口の確認など。校内：立入禁止区域などの確認。 |
| | 9月8日(月) | 市民活動支援センター | チラシの仕分け作業(市内全小学校別に児童数分に仕分け。) |
| 第4回 | 9月8日(月) | 市民活動支援センター | 前日及び当日の運営(ブース出展、人員配置など)、レイアウト(案) |
| 第5回 | 9月26日(金) | 市民活動支援センター | レイアウトの確認、前日及び当日運営の確認、スタンプラリーカード・スタッフバッグづくり |
| 第6回 | 10月10日(金) | 市民活動支援センター | 反省会 |

成果・反省点・課題

- * 昨年度に比べ、参加団体が14団体増え、より幅広い分野の活動団体が交流することができた。また、学校側の理解はもちろんのこと、PTAや健全育成などの協力を得ることもできて、地域全体で取り組みをすすめたい、という目標の第一歩を踏み出すことができた。天候に恵まれたこともあり、来場者は述べ1,000人を記録し、大勢の子どもそして大人が楽しいひとときを過ごすとともに、あらためて「家族の絆」や「地域の絆」というものを見つめるきっかけにもなったのではないだろうか。当日訪れた他校の校長から「来年度はぜひわが校で」という申し出もいただき、徐々にこの「こどもあそび博覧会」が信頼され期待されてきていると感じた。しかし、この事業は単年度ごとに地域をかえておこなっていることもあり、これを機会に地域のつながりを継続的なものにできるかどうかという課題がある。

5 ちょうふチャリティウォーク2008の開催

寄付文化の醸成、市内企業のネットワークと地域との連携づくりを目的に実施。

企画、運営を実行委員会方式とし、地域企業に参加を呼びかけて約10ヶ月の準備期間を経て開催した。

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--------|------------------|-----|-----------------------|
| 開催日時 | 10月26日(日)午前10時～午後3時 | | | | |
| 会場 | 調布市立第一小学校校庭および市内各所 | | | | |
| 参加者 | 360人 | 運営スタッフ | 140人 | 参加費 | 一人500円 (中学生以下100円) |
| 主催 | ちょうふチャリティーウォーク2008実行委員会 | | | | |
| 共催 | 社会福祉法人調布市社会福祉協議会 | | | | |
| 協賛 | 調布市、味の素スタジアム、大塚製薬株式会社 | | | | |
| 後援 | 調布市教育委員会 | | | | |
| 実行委員会 参加企業 および 団体 | マイクロソフト株式会社、株式会社調布自動車学校、林建設株式会社、調布FM株式会社、東京ジューキ食品株式会社、角川映画株式会社、高津装飾美術株式会社、株式会社ナムコ、茨木商事有限会社、株式会社ウィード、マニユライフ生命保険株式会社、東京フットボールクラブ株式会社、有限会社管理人代行サービス、有限会社調布清掃、野村證券株式会社、株式会社やまぐち、社団法人調布市体育協会、特定非営利活動法人ちょうふどっとこむ、金子スポーツ振興株式会社 | | | | |
| チャリティー 金額(参加費 、会場内寄付) | 261,725円 | | えんがわファンドの原資として寄付 | | |

ウォーキングプログラム

9:30 受付開始

9:50 開会あいさつ 南條実行委員長
来賓あいさつ 調布市中根副市長

10:00 スタート(中根副市長号砲)

(50人程度をひとグループとして時間差でスタート)

メイン会場(第一小学校校庭)プログラム

<ステージ>

10:00 - 10:55 バンド演奏 by メタボリック・ぱびーず
11:00 - 11:25 ゴスペル by Verrys
11:30 - 11:40 だるま踊り by だるチャンス
13:00 - 13:40 バンド演奏 by GINZ バンド
13:45 - 13:55 アトラクション by コマレンジャー
13:55 - 14:25 吹奏楽 by 調布市立第三中学校吹奏楽部
14:30 15:00 おたのしみ抽選会

<その他催し>

為替変動体感ゲーム(小学校高学年向け) by 野村證券
キックターゲット by FC東京
リフレクソロジー・足浴 by 地域リフレの会 エーデル
ヘリウムガス風船プレゼント by 管理人代行サービス
生け花 by 双花 はな

<模擬店>

磯辺焼き by ぼけっと(障害者・青年の集い)
パン by ふぁんふぁ〜れ
東京チキンロール・フライドポテト・レモネード by 「Kenny's」
クリームシチュー by NPO 法人ちょうふこどもネット

成果・反省点・課題

- * はじめての試みであったが、共感して下さった企業や団体のご協力のもとたくさんの社員ボランティアのみなさんが集まり、無事1回目を終了することができた。当日の運営はもちろん、事前の準備では、専用ホームページの作成やチラシ、ポスターなどの作成、ウォーキングコースの設営やチェックポイントの設営、抽選会の景品集めなどそれぞれの会社あるいは個人の特性、得意分野を生かして力を発揮していただいた。企業、行政、市民活動団体によるひとつの協働事業となったこと、信頼関係を築く第一歩となったことは評価できると思う。
- 今後、この事業をどのように進めていくかは大きな課題である。もともと地域における企業間のネットワークづくりを目的として、企業や行政、市民活動団体の協働体験の具体的事例とするために企画した側面もあるため、イベントの協働実施にとどまらない関係づくり、ネットワークづくりという点も工夫していきたい。

6 2008年首都圏統一帰宅困難者対応訓練への参加

大災害時における帰宅困難者を想定した体験型訓練で、千葉・埼玉・神奈川・東京の4コースで実施。調布市内にゴール地点が設置された東京コースに参加した。

(1) 実施状況(東京コース)

| | |
|-------------------|--|
| 実施日時 | 9月23日(火)午前10時～午後5時 |
| 会場 | 日比谷公園～新宿通り～甲州街道～電気通信大学 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩帰宅訓練 ・エイドステーション(帰宅支援)設置訓練 <p>調布市内には、栄太楼総本舗、郵便事業株式会社調布支店、電気通信大学の3箇所にエイドステーションを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信訓練 |
| 調布市内エイドステーション協力団体 | 栄太楼総本舗労働組合、JB日本接骨師会、真如苑SeRV、仙川・緑ヶ丘まちづくり会議、調布災害時ボランティア・コーディネーターの会、調布市(総合防災安全課・協働推進課)、調布市赤十字奉仕団、調布青年会議所、八雲台小学校地区協議会、電気通信大学、郵便事業株式会社調布支店、連合三多摩、調布市社会福祉協議会 |
| 調布市内エイドステーション協力者数 | 栄太楼総本舗 29人 郵便事業株式会社調布支店 15人 電気通信大学 70人 |
| 参加者数 | 470人(4コース合計3,493人) |
| 主催 | 2008年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実行委員会 |
| 主管 | 東京災害ボランティアネットワーク |

(2) 実行委員会

| 回数 | 日時 | 会場 | 参加者 | 内容 |
|-----|------------------------|----------|-----|-----------------------------------|
| 第1回 | 7月10日(木) 午後4時～6時 | 東京都生協連会館 | 7人 | 2007年訓練のまとめ、2008年の進捗状況 |
| 第2回 | 7月25日(金) 午後4時～5時30分 | 東京都生協連会館 | 8人 | 訓練全体の確認、エイドステーション設置の状況確認 |
| 第3回 | 8月21日(木) 午後4時～6時 | 東京都生協連会館 | 23人 | エイドステーション設置の状況確認、資機材の確認 |
| 第4回 | 9月3日(水) 午後4時～6時 | 東京都生協連会館 | 16人 | エイドステーション設置の状況確認、資機材の確認、タイムスケジュール |

| | | | | |
|-----|---------------------|----------|-----|--------------------------------|
| 第5回 | 9月18日(木) 午後4時～6時 | 東京都生協連会館 | 20人 | エイドステーション設置の状況確認、コース全体での役割・留意点 |
| 第6回 | 10月6日(月) 午後4時～6時 | 東京都生協連会館 | 12人 | 反省会 |

成果・反省点・課題

- * 実際に大震災が発生した場合、帰宅困難者が数百万人発生すると想定されている。これまでセンターではこの問題に対しては検討していなかったため、新たな気づきや課題が発見できた訓練であった。今回の訓練の経験を活かし、行政や関係機関と連携して災害対策に取り組んでいきたい。
- * 地縁組織、市民活動団体、企業、行政が協力して訓練に取り組み、「顔の見える関係」をつくることができた。
- * 生活協同組合や労働組合等、これまで関わりのなかった団体ともつながりができた。

7 調布ボランティア連絡会の開催

調布ボランティアまつり参加団体を中心に、団体間の情報交換や交流を目的に隔月に実施した。

(1) 開催状況 定例会4回 会場はいずれも調布市総合福祉センター会議室

| 開催期日 | 内 容 |
|-----------|---|
| 5月12日(月) | ・調布ボランティアまつり反省会 ・調布ボランティア連絡会・今後の日程について |
| 6月9日(月) | ・連絡会各団体の活動紹介 各団体4分間スピーチ ・次回連絡会の内容について |
| 8月25日(月) | ・調布市 出前講座 「不発弾処理に伴う避難所対応について」 総務部総合防災安全課職員 福祉健康部障害福祉課職員 ・防災アンケートについて |
| 10月20日(月) | ・防災について ・第29回調布ボランティアのまつり(平成20年度)について ・第29回調布ボランティアのまつり第1回実行委員会開催以降、調布ボランティアまつり実行委員会に移行 |

8 菊野台ボランティア連絡会の開催

菊野台コーナーを拠点に活動しているボランティアの交流や情報交換を目的に約2ヶ月に1回開催した。コーナーの事業への協力、連携が深まった。また、連絡会の団体・メンバーの募集のためのチラシ作りや、活動紹介など、積極的な地域への働きかけも行っている。

成果・反省点・課題

- * ボランティアまつりの中核となり、自主的な意識を持ち、積極的に活動している。

9 緑ヶ丘ボランティア連絡会の開催

緑ヶ丘コーナーを拠点として活動しているボランティア団体の交流・支えあいを目的に開催し、地域のためになる活動を考え、実施することに協力した。

開催回数 4回 参加人数 延べ21人

成果・反省点・課題

- * ボランティア団体の横のつながりができた。お祭りでカフェ&生チョコを企画し、喫茶店を開いたところ、大好評で、資金調達もできた。昨年度、今後はそれぞれの団体の活動はもとより、地域の役に立つ何かを考えましょう！という提案があり、具体的な事を決めていきたかったのだが、なかなか実践まで至らなかった。うたごえ喫茶の際に、一日カフェを開いて欲しいという要望に応え、半日ではあるが行事の前後でくつろげるようにし、皆さんに喜ばれた。来年度に向けて、新しい団体の立ち上げの準備をしている。

10 北多摩南部ブロック（調布・府中・三鷹・小金井・狛江）ボランティア・市民活動センターとの連携

他地区センターと事業共催することにより連携強化を図ると同時に、業務や経費を分担することで効率的に多彩な事業を展開することを目的として平成12年度から実施。これまで、環境（平成14年度、15年度）や国際交流（平成12年度、13年度、16年度）NPO マネジメント講座（平成17年度）、奉仕体験（平成18年度）をテーマに実施した（19年度は未実施）。

20年度は、NPOの設立・運営に関するテーマ別講座を開催した。

（1）共催事業「クローズアップNPO～もっと知りたい！伝えたい！～」の開催

| | |
|------|---|
| 実施日時 | 2月21日（土）午後1時30分～3時30分 交流会午後3時45分～5時 |
| 会場 | 三鷹駅前コミュニティセンター |
| 内容 | テーマ別講座 テーマ：コミュニケーション（調布担当） 「心に届くコミュニケーションUP術～充実した活動のために～」 講師：渡辺浩子氏（ウェルネスコーディネーター、心理相談員、紫音代表） |

| | |
|------|---|
| | <p>テーマ：リスクマネジメント（狛江担当） 「誰かに聞いてほしいけど誰にも話せないリスクのこと」 講師：保泉彰氏（社団法人日本損害保険協会 生活サービス部 安心安全推進グループ担当課長）</p> <p>テーマ：NPO入門（府中担当） 「ちょっと知りたい！NPOよろず相談所」 講師：池澤良子氏（東京ボランティア・市民活動センター 専門員）</p> <p>テーマ：広報（三鷹担当） 「キャラクターづくりに挑戦！」 講師：西岡直実氏（キャラキッズ主宰）</p> <p>交流会（小金井担当）</p> |
| 参加者数 | 21人 |
| 後援 | 三鷹市 |

（2）北多摩南部ブロックボランティア担当者連絡会開催状況

| 回数 | 日時 | 会場 | 参加者 | 内容 |
|-----|------------------------------|----------------|-----|--------------|
| 第1回 | 9月9日（火） 午後3時30分～5時 30分 | 府中市立ふれあい会館 | 10人 | 共催事業の検討、情報交換 |
| 第2回 | 10月2日（木） 午後3時～5時 | 府中市立ふれあい会館 | 10人 | 共催事業の検討 |
| 第3回 | 11月7日（金） 午後3時～5時 | 府中市立ふれあい会館 | 10人 | 共催事業の検討 |
| 第4回 | 12月4日（木） 午後3時～5時 | 府中市立ふれあい会館 | 9人 | 共催事業の検討 |
| 第5回 | 1月29日（木） 午後3時～5時15分 | 三鷹駅前コミュニティセンター | 8人 | 共催事業の最終確認 |

成果・反省点・課題

- * 参加者が非常に少なかった。NPOの課題やニーズに即した内容だったか、またプログラム・日程等に問題はなかったか等、なぜ参加者が少なかったのかを分析して今後の事業に反映させたい。
- * 各市単独では取り組みにくい課題に対応するためにも、5市共催で事業を行う意義はある。来年度も共催の強みを活かし、事業を実施したい。

1.1 困難な課題を抱える女性のためのIT講座の運営協力

DV被害や幼児期の虐待体験、外国籍や母子家庭など、さまざまな困難な課題を抱えている女性を対象にパソコンの基礎技術を指導し、社会参加と自立への支援を行う、企業人ボランティアグループの活動支援を行った。

(主催：ITボランティアネットワーク)

| | | |
|-------------------------|---|--|
| 開催日時 いずれも 日曜日 | 第一期 | 4月13日、4月27日、5月11日、5月25日、6月8日、6月22日、7月6日、7月13日(全8回)、開催 |
| | 第二期 | 8月24日、9月7日、9月28日、10月5日、10月19日、10月26日、11月9日(全7回)、開催 |
| | 第三期 | 12月7日、12月21日、1月18日、1月25日、2月8日、2月22日、3月8日、3月15日(全7回)、開催 |
| 内 容 | ワードコース | ワードの基礎を中心に応用とインターネットの習得 午前10時～12時 |
| | エクセルコース | エクセルの基礎を中心に応用とインターネットの習得 午後1～3時 |
| 参加者数 | 講座参加者延べ50人(各コース10人定員) 指導・環境ボランティア10人 保育ボランティア7人 | |

成果・反省点・課題

- * 指導ボランティアが一人ひとりに対応して参加者に合わせたきめ細やかな指導が行われているため、参加者から好評であった。期をまたいで参加される人も多く、就労などの社会参加への支援が行われていた。また、子育て世代の参加者からは「子どもと一緒に行くのを楽しみにしています」との声をいただき、集中して授業に取り組める環境を提供することができた。
- * 引き続きITボランティアネットワークに対し、ボランティア募集の支援やハード面の支援もおこなっていく。
- * 安全面に配慮しながら、この講座を必要としている女性に情報が届くようハローワーク・男女共同参画推進センターおよび市内各施設と連携し、女性たちが社会の中で自信を持って自立できるよう支援していきたい。

第5 ボランティア・NPO・市民活動コーディネート

1 相談対応、ボランティア・市民活動支援

相談対応、活動支援、活動紹介等コーディネート機能を強化し、市民の主体的な活動を支援した。

(1) ボランティア団体及びボランティア登録状況

| 拠 点 | 登録団体 | | 個 人 |
|---------|-------|---------|------|
| | 団体数 | 構成メンバー数 | |
| 小島町コーナー | 111団体 | 4,817人 | 210人 |

第3部 市民活動支援センター

| | | | |
|---------|-------|--------|------|
| 菊野台コーナー | 15団体 | 2,087人 | 12人 |
| 富士見コーナー | 14団体 | 229人 | 68人 |
| 染地コーナー | 23団体 | 255人 | 35人 |
| 緑ヶ丘コーナー | 6団体 | 83人 | 28人 |
| 合計 | 169団体 | 7,471人 | 353人 |

(2) 相談業務及びコーディネート事業

| 拠点 | 相談件数 | ニーズ受付件数 | | 対応件数 | 対応人数 |
|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | 個人 | 団体 | | |
| 小島町コーナー | 2,082件 | 個人 | 1,192件 | 1,100件 | 2,124人 |
| | | 団体 | 279件 | | |
| 菊野台コーナー | 91件 | 個人 | 64件 | 59件 | 81人 |
| | | 団体 | | | |
| 富士見コーナー | 144件 | 個人 | 92件 | 88件 | 90人 |
| | | 団体 | | | |
| 染地コーナー | 115件 | 個人 | 41件 | 32件 | 64人 |
| | | 団体 | | | |
| 緑ヶ丘コーナー | 94件 | 個人 | 4件 | 2件 | 3人 |
| | | 団体 | 20件 | 19件 | 54人 |
| 合計 | 2,526件 | 1,692件 | | 1,571件 | 3,117人 |

成果・反省点・課題

- * 個人からの依頼では、保育、児童の送迎、授業の見守りなど継続的、日常的にサポートが必要なボランティアニーズが引き続き増加する傾向にあるが、それに伴い、活動する中で悩む活動者からの相談や、また依頼者から受ける相談なども増えている。
- * 児童の送迎については、ボランティアの拡大のため、定年退職者層をターゲットにしたポスター、チラシを作成し、ひろく広報をした。

2 子育て支援・ひまわり (緑ヶ丘コーナー)

| | |
|------|--|
| 開催目的 | 健康な心を取り戻すため 辛い気持ちなどの分かち合い 育児に関するアドバイス |
| 開催日 | 通年 8月と12月を除く、毎月2回開催(火曜日) 4月15日、22日、5月13、20日、6月3、17日、7月1、15日、 9月9、16日、10月7、21日、11月4、18日、1月13、20日、 2月3、17日、3月17、24日 |

| | |
|-------|---|
| 内 容 | おしゃべりをしながら、惣菜やパンケーキ・クッキーなどを作り、楽しむ。 作ったものを試食しながら、話を聴きだし、問題点についてアドバイスをしたり 育児相談に対応したりする。 |
| 会 場 | 緑ヶ丘地域福祉センター |
| 参 加 者 | 延べ20人 |
| 講 師 | 子育てアドバイザー 船山 和子氏 |
| 支 援 | 社会福祉法人 三社会 緑ヶ丘保育園 |

第6 人材育成，学習支援

1 出前ボランティア講座の実施

(1) 小・中等学校ですすめられている「総合的な学習の時間」に対応した。

| | | | | |
|--------|--|-----|------|-----|
| 出前回数 | 46回 | 出前先 | 小学校 | 33回 |
| 受講生 | 延べ4,614人 | | 中学校 | 2回 |
| 派遣スタッフ | 延べ236人 | | 高等学校 | 8回 |
| | | | その他 | 3回 |
| 開催講座数 | 146講座・・・手話32講座・視覚障害者ガイド35講座・点字48講座・ 車いす48講座 | | | |

(2) 福祉まつりにて体験コーナーを実施した。

| | |
|--------|--|
| 開催日 | 12月6日(土) 午前10時～午後3時 12月7日(日) 同上 |
| 会場 | 総合福祉センター 4階 |
| メニュー | 6日(土)車いす体験講座、手話体験講座 作業所協力による機織体験 幻聴・幻覚体験 バリアフリー映画上映 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示、 スルーネットピンポン 7日(日)点字体験講座、 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示、 スルーネットピンポン |
| 協力スタッフ | 車椅子3人、手話(登録手話通訳者の会) 18人 点字(菊野台点字サークル)6人、作業所(希望の家)1人 ヤンセンファーマ 1人 |
| 協力 | (株)ヤンセンファーマ |

| | | | | | |
|------|-------------------|-------------------|------|------|------|
| 来場者数 | 6日(土) | 車椅子体験 | 111人 | 手話体験 | 113人 |
| | | 作業所体験 | 2人 | | |
| | | 幻聴・幻覚体験 | 36人 | | |
| | | バリアフリー映画上映 | | 58人 | |
| | | スルーネットピンポン | | 123人 | |
| | | 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示 | | 147人 | |
| | 7日(日) | 点字体験 | 115人 | | |
| | | スルーネットピンポン | | 102人 | |
| | 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示 | | 152人 | | |

2 都立高等学校における教育活動支援業務の実施

平成19年度より必修化された都立高「奉仕体験」における教育支援コーディネーター業務を東京都教育委員会より受託した。

(1) 実施内容

奉仕の講話(オリエンテーション)

手話体験

- ・コミュニケーション方法について
- ・聴覚障害者のお話
- ・ジェスチャーから手話での表現を学習
- ・手話でのあいさつ、会話の練習

点字体験

- ・点字の打ち方、読み方
- ・視覚障害者のお話

車イス体験

- ・車イスの自走体験及び介助方法(校内にある段差やスロープなど)
- ・身体障害者のお話

(2) 会場校・対象者

- ・都立調布北高等学校
- ・第1学年 全6クラス 240名

(3) 実施状況

3クラスずつローテーションで手話、点字、車イスのそれぞれを体験した。

| 実施日(いずれも水曜日) | 時間 | 内容 | 対象 |
|--------------|----------------------|-------------|--------|
| 4月30日 | 午後2時15分～3時5分 (6限) | 奉仕の講話 | 第1学年全員 |
| 5月7日 | 午後2時15分～4時5分 | 手話、点字、車イス体験 | 1～3組 |

| | | |
|--------|--------|------|
| 5月14日 | (6、7限) | 4～6組 |
| 5月28日 | | 1～3組 |
| 6月11日 | | 4～6組 |
| 10月8日 | | 1～3組 |
| 10月15日 | | 4～6組 |

成果・反省点・課題

* 平成20年度の新規事業として、東京都教育委員会より業務委託を受けて都立調布北高等学校にて年間を通じた支援を行った。支援内容は、学校側から依頼のあった「手話」、「点字」、「車イス」の3つの体験およびそのコーディネートと事前のオリエンテーションでの講話を行った。これらは既に市民活動支援センターで出前講座として実施している内容であり、そのノウハウやそれぞれの障害を持つ当事者スタッフとその介助や通訳のスタッフなどの日頃から培われた人脈を生かすことができた。また、体験者からは「普段、何気なく行っている動作も車イスの上ではとても難しく感じた。」「今後は、街で困っていそうな方がいたら、積極的に声をかけていきたい。」など新たな視点を得ることができ、大変充実した体験を過ごせたようである。

しかし、その一方で、今回実施に当たり、今まで小・中学校で実施してきた出前講座とは異なる点が多く、スタッフ側も高校生への教え方や教員との役割分担など、対応に苦慮する場面も見受けられた。

そこで、改善策としては、次の点を挙げたい。

- ・テキストとふりかえりシートなどを冊子にすること。その1冊で体験の事前学習と体験時に学んだこと、また、そのふりかえりの全てを網羅できるようになる。

3 調布サマーボランティア'08

青少年(概ね13歳～30歳)を対象に、夏休み期間を利用したボランティア活動体験を実施した。活動体験の受け入れ先は、市内および都内の福祉施設、社会教育施設や市民活動団体など。東京ボランティア・市民活動センターとの共催により、都内他地区ボランティア・市民活動センターとも連携し、幅広い地域から訪れる活動体験希望者と受け入れ先との調整を行った。

| | | | |
|-----------|----------------------|------------|--------------|
| 協力団体・施設 | 61団体 ・ 73プログラム | 内 訳 | |
| | | ・高齢者関係 | 17団体 14プログラム |
| | | 高齢者施設 | 9団体 |
| | | 老人クラブ | 3団体 |
| | | ボランティアグループ | 2団体 |
| | | 社協・市関係団体 | 3団体 |
| ・障害者(児)施設 | 13団体 25プログラム | | |

第3部 市民活動支援センター

| | | | |
|---------------------------------|-------------|--|--------------|
| | | 障害者施設 | 12団体 |
| | | ボランティアグループ | 1団体 |
| | | ・子ども関係 | 31団体 23プログラム |
| | | 児童養護施設 | 0団体 |
| | | 障害児施設・団体（学童クラブ含） | 4団体 |
| | | 児童館・学童クラブ | 10団体 |
| | | 保育園 | 17団体 |
| | | ・海外協力 | 0団体 0プログラム |
| | ・環境関係 | 2団体 2プログラム | |
| | ・その他IT・文化など | 9団体 9プログラム | |
| 参加者人数および活動先別人数内訳 | 参加者総数 | 212人（男性 87人 女性 125人） | |
| | 年齢層内訳 | 中学生 | 74人 |
| | | 高校生 | 124人 |
| | | 専門学校生 | 4人 |
| 大学生 | | 4人 | |
| 社会人 | | 6人 | |
| 活動先別内訳 (のべ数) | 高齢者関係 | 67人 | |
| | 障害者関係 | 37人 | |
| | 児童関係 | 71人 | |
| | 国際・環境関係 | 16人 | |
| | その他 | 40人 | |
| 協力団体・施設 シヨン 教員向けオリエンテーション | 開催日時 | 4月24日（木）午後4時～5時 | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 ・方針、スケジュールについての説明 ・意見交換ワークグループ テーマ「お互いのここがしりたい！～どうすればよくなる？！ボランティア体験～」 | |
| | 参加人数 | <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体・施設担当者 18人 ・教員 10人 ・中間支援組織職員 1人 | |
| 出前オリエンテーション | 開催場所 | 世田谷学園中等部 普通教室 調布市立第八中学校 視聴覚室 | |
| | 開催日時 | 7月7日（月） 7月8日（火） | |
| | 参加者 参加人数 | 世田谷学園中等部第2学年 15人 調布市立第八中学校第3学年 46人 | |

| | | |
|-------------|------|---|
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・調布サマーボランティア概要 ・体験先の紹介 ・参加者の体験談、失敗談 ・受け入れ先からの注意事項、その他留意点など |
| 合同オリエンテーション | 開催日時 | 7月16日(水) 午後4時～6時 7月19日(土) 午後2時～4時 |
| | 内 容 | 第1部 <ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 ・ボランティアとは? ・活動を始めるにあたっての諸注意 ・体験先施設(団体)紹介 第2部 <ul style="list-style-type: none"> ・体験先別個別オリエンテーション |
| | 参加人数 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験者 131人(94人、48人) ・体験先団体・施設担当者 25人(10人、8人) |
| 交流会 | 開催日時 | 8月20日(水) 午後3時～5時 |
| | 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・サイコロトーク ・交流会 |
| | 参加人数 | 体験者 26人 体験先団体・施設担当者 8人 教員 2人 |

成果・反省点・課題

- * 参加者すべての要望に応えることはできなかったが、不安を抱きながらも参加した活動者が実際の体験後では「もう一度やりたい」との感想や協力団体から「数日間ですいぶん体験者は頼もしくなった」との感想もいただいた。協力団体・施設の好意的な対応と協力を得ることができた。
- * 昨年度は参加者の数が児童関係の分野に偏っていたが、今年度は各分野にわかれた。家から近いなど、通いやすいところを体験先として選べるよう「体験先一覧」をエリア別に分類していたことが要因の一つとして挙げられる。
- * 昨年度と比べ、参加者総数にさほどの変化はなかったが、高校生が減ったのに対し、中学生が2倍近くとなった。中学生が増えたのは出前オリエンテーションを2つの中学校でおこなったことにより体験に興味を持った人が積極的に参加したためと考えられる。
- * 都立高等学校の奉仕体験活動および学校の課題として、当プログラムを利用する参加者も多い。来年度は学校側と連携をとりながら、また、協力団体・施設との連携もとりながら進めていきたい。

4 ボランティア入門講座「はじめの一步」

はじめてボランティア・市民活動に参加する方やボランティア・市民活動について知りたいという方を対象に、ボランティア入門講座「はじめの一步」を各ランチで開催した。

| 拠 点 | 開催日 | 参加者数 | スタッフ |
|---------|-----------|------|------|
| 菊野台コーナー | 5月17日(土) | 3人 | 1人 |
| | 11月13日(木) | 0人 | 1人 |
| 富士見コーナー | 7月26日(土) | 0人 | 2人 |
| | 1月27日(火) | 4人 | 3人 |
| 染地コーナー | 6月21日(土) | 4人 | 1人 |
| | 12月13日(土) | 0人 | 1人 |
| 緑ヶ丘コーナー | 4月22日(火) | 7人 | 1人 |
| | 10月30日(木) | 0人 | 1人 |
| | 3月21日(土) | 0人 | 1人 |
| 野ヶ谷の郷 | 9月30日(火) | 0人 | 1人 |

5 ボランティアマネジメントセミナー「地域で障害のある児童の支援を広げるために」

調布市内の学校の依頼として、通常学級に在籍する障害児(特に発達障害児)の見守り、学習のサポート、学級運営支援などの相談が増えてきている。

支援活動をしているボランティアが安心して活動できるよう、また同時に、新たな協力者の養成をかねて、障害(特に発達障害)に関する理解を深める講座を企画。これからの学校支援や発達障害児の支援について考察する機会とした。

| | |
|--------------|--|
| 日 時 | 第1回 11月13日(木)午前10時~12時 第2回 11月18日(火)午後3時~5時 |
| 対 象 | ボランティア活動者および活動希望者 |
| 参加申込み 参加者 | 38人 第1回 30人 第2回 24人 |
| 講 師 | 第1回 調布市教育委員会 教育支援コーディネーター 山田 庄治氏 東京都立調布特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 山岸 正氏 第2回 調布市教育委員会 教育支援コーディネーター 池田 幸子氏 調布市立富士見台小学校 学校長 千田 文子氏 学校支援ボランティア 仁田 典子氏・畑澤 美千子氏 |
| 内 容 | 第1回 発達障害に関する障害理解について 第2回 教育の現場で今、必要としているサポートとは何か |

成果・反省点・課題

- * 教育センターの協力で講座が企画でき、教育支援コーディネーター室との連携が図れた。
- * この講座が、調布市学校ボランティアの派遣制度実施のきっかけとなった。

6 小・中学生ボランティア体験講座（菊野台コーナー）

小学校3年生から中学3年生までを対象に、ボランティア活動についての学習と体験の場として毎月1回行う。人とのふれあいや様々な体験をとおして、ボランティア活動や共に地域で支えあいながら暮らしていくことの意義について考えていく。

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 | スタッフ・協力者 |
|-----------|------------------------------|-------|---------------|
| 10月18日(土) | ボランティアってなあに？ 点字で名刺を作ってみよう！ | 7人 | 菊野台点字サークル |
| 11月15日(土) | 「ちょうふ」の自然・良さを見つけてみよう！ | 5人 | ねこじゃらし |
| 12月20日(土) | 「使用済み切手」は、なんの役に立つの？ | 2人 | すたんぶ菊野台 |
| 1月17日(土) | 地域のバリアを見つけに行こう！ | 6人 | ヘルパー有資格者 |
| 2月28日(土) | 「日本語」でボランティア外国人の人と話してみよう | 4人 | 調布日本語ボランティアの会 |
| 3月14日(土) | 交流会 ミステリー・プラン(ミニ手話講座、割りばしの話) | 6人 | 菊野台ボランティア連絡会 |
| 全6回 | | 延べ30人 | 延べ35人 |

7 脳トレ健康ふれあいマージャン（富士見コーナー）

| | |
|------|---|
| 開催目的 | 地域の60歳以上の高齢者を対象に、脳と指先のトレーニングを図るとともに、互いの交流とふれあいを目的にして開催した。 |
| 日時 | 4月から3月までの第1・3火曜日 午後1時30分～4時 |
| 会場 | 富士見地域福祉センター |
| 参加者 | 24人(延べ384人) |
| 指導者 | 上畑 敏子氏 |

8 高齢者のふれあい健康体操（富士見コーナー）

| | |
|------|---|
| 開催目的 | 地域の60歳以上の高齢者を対象に、健康増進を図るとともに、互いの交流とふれあいを目的にして開催した。講座修了後、自主サークルとして活動する |
| 日時 | 10月～3月までの毎週火曜日 午前10時～11時30分 |
| 会場 | 富士見地域福祉センター |
| 参加者 | 16人(延べ360人) |

| | |
|-------|--------|
| 指 導 者 | 大山 典子氏 |
|-------|--------|

9 手づくり講座 4回シリーズ(染地コーナー)

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 開 催 目 的 | 布や折り紙を使った、簡単に楽しめる小物づくりの好きな人々が集まり、新たな仲間づくりをめざして開催した。 | | |
| 日 時 | 9月18日 10月16日 11月20日 12月4日(全4回) いずれも木曜日 午後1時30分～3時30分 | | |
| 会 場 | 染地地域福祉センター 染地コーナー | | |
| 内 容 | 折り紙でつくる万華鏡 ハローウィンの小箱づくり 軍手でつくるスノーマン 折り紙のサンタクロース他 | | |
| 講 師 | 石崎 慶子氏 上野 聖子氏 | 参加者数 | 延べ43人 |

10 シニアボランティア講座「そば打ち講座」(染地コーナー)

| | |
|---------|---|
| 開 催 目 的 | リタイア後のシニアの方々が、新たな仲間づくりの場として、地域社会とのつながりを持つきっかけとなることを目的に開催。 |
| 日 時 | 2月12日、19日、26日、3月5日(全4回) いずれも木曜日 午後1時～4時30分 |
| 会 場 | 染地地域福祉センター |
| 内 容 | そば打ちの全行程を4回とおし行う。出来上がりを試食し残りは持ち帰る。 |
| 講 師 | 川上 岩夫氏(こだわりのそば打ちクラブ代表) 昨年の講座修了生が補助 |
| 参 加 費 | 5,000円(4回分の材料費込み) |
| 参 加 者 | 6人(男性3人、女性3人) |

11 染地うたごえ広場(染地コーナー)

| | | | | | | |
|---------|---|-------|-------|------|------|--------|
| 開 催 目 的 | 世代を問わず音楽をとおして、地域の皆さんに楽しんでもらえる場を手作りで企画・運営。毎月第1土曜日開催。 | | | | | |
| 会 場 | 染地地域福祉センター | | | | | |
| 日 時 | 4月5日 | 6月7日 | 7月5日 | 8月2日 | 9月6日 | 10月18日 |
| 来 客 者 | 46人 | 47人 | 45人 | 44人 | 60人 | 53人 |
| 日 時 | 11月1日 | 12月6日 | 1月17日 | 2月7日 | 3月7日 | |
| 来 客 者 | 49人 | 64人 | 49人 | 53人 | 55人 | |
| 内 容 | 童謡、唱歌や皆が歌いたい歌のリクエストから全員で歌う。 | | | | | |
| 参 加 費 | 300円(飲み物、茶菓子付) | | | | | |
| 企画・運営 | 染地ボランティア連絡会 染地うたごえ広場プロジェクトチーム | | | | | |

1.2 仲間づくりと自立のための男の料理塾（緑ヶ丘コーナー）

| | | |
|--------|--|------------|
| 開催目的 | 定年後の男性の食の自立と仲間づくり、地域社会への参加を促すことを目的として開催する。 | |
| 開催日と献立 | 11月29日(火) | 肉をメインにした料理 |
| | 1月17日(火) | 魚をメインにした料理 |
| | 平成21年4月1日(火) | お米を使った料理 |
| 会場 | 緑ヶ丘地域福祉センター | |
| 参加者 | 概ね60歳以上の男性4人 | 参加費 3,000円 |
| 講師 | 野瀬 るり子氏 | |

第7 その他

1 他団体会議・講座等への委員、講師、パネラーなど職員派遣

| 日程・期間 | 会議・講座名称 | 主催団体 |
|----------|------------------------|-------------------------------|
| 5月20日(火) | 図書館ボランティア説明会 | 調布市立中央図書館 |
| 5月21日(水) | 三菱東京UFJ銀行新任行員研修 | 三菱東京UFJ銀行 / 東京ボランティア・市民活動センター |
| 6月4日(水) | 都内ボランティア・市民活動センター新任研修 | 東京ボランティア・市民活動センター |
| 2月22日(日) | 第3回笛吹市ボランティア大会 | 笛吹市社会福祉協議会 |
| 3月1日(日) | 笛吹市ボランティア連絡会研修会 | 笛吹市社会福祉協議会 笛吹市ボランティア連絡会 |
| 通年 | 東京ボランティア・市民活動センター運営委員会 | 東京ボランティア・市民活動センター |

2 職員研修

レベルアップを図るためそれぞれの経験年数、職務に応じた研修に参加した。

| 会議・講座名称 | 参加人数 | 主催団体 |
|--|------|--|
| 平成20年度区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修 | 1人 | 東京ボランティア・市民活動センター |
| NPO法人運営講座 | 1人 | 東京ボランティア・市民活動センター シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 |
| NPO法施行10周年記念シンポジウム 「このままでいいのか！日本のNPO」 | 2人 | 特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センター |

第3部 市民活動支援センター

| | | |
|---|----|---------------------------------|
| | | 特定非営利活動法人NPO推進ネット |
| 人と組織をつなぐプレゼンテーション技術 ～社会企業家としての実体験をもとに～ | 3人 | 都内社協職員連絡会 |
| 市民コーディネーター体験講座 | 1人 | 特定非営利活動法人ひ・ろ・こらぼ |
| コミュニティビジネスシンポジウム ～知恵・人・身近な地域をつなぐ～ | 1人 | 関東経済産業局 |
| ボランティアコーディネーター基礎研修 | 1人 | 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 |
| 全国ボランティアコーディネーター研究集 会2009 | 4人 | 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 |

3 視察対応

他地域からのセンター見学および研修依頼に随時対応した。

| 日程 | 団体名等 |
|-----------|---|
| 6月18日(水) | 西東京市 |
| 7月4日(金) | 多摩NPOセンター |
| 7月18日(金) | 東京ボランティア・市民活動センター主催 区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修 |
| 8月22日(金) | 丸亀市市議 |
| 10月6日(月) | 国分寺市市民活動センター |
| 11月25日(火) | 小金井市社会教育委員 |
| 2月10日(火) | 府中NPO・ボランティア活動センター |